

官報

號外

明治四十年三月二十日

水曜日

印刷局

○第二十三回 帝國議會 衆議院議事速記録第十八號

明治四十年三月十九日(火曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第十七號 明治四十年三月十九日 午後一時開議

第一 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正 第一讀會

第二 法律案(政府提出) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員報告)

第三 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(森本提出) 第一讀會ノ續(委員報告)

第四 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案(植場平外提出) 第一讀會ノ續(委員報告)

第五 鹽專賣法廢止法律案(早速整爾外提出) 第一讀會ノ續(委員報告)

第六 鹽專賣法廢止ニ關スル建議案(南條吉左衛門提出) 委員長報告

第七 本院ノ體面ニ關シ調査ノ件 委員長報告

第八 (特別報告第十九號)高等工業學校設立ノ請願 委員長報告

第九 (特別報告第二十八號)漆樹栽培保護ノ請願外 委員長報告

第十 議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀) 貴族院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出刑法改正案ハ本院ノ修正ニ同意スルコトヲ得サルモノト議決シ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求シ且協議委員ノ數ヲ十名ト爲スコトニ決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ 明治四十年度歲入歲出總豫算追加案(第二號) 明治四十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ 臺灣彩票局廢止建議案 提出者 高梨 哲四郎君

一荒川五郎君ヨリ學制及學事ニ關シ花卉卓藏君外四名ヨリ海馬島ニ關シ質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス) 一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

司法官ノ待遇ニ關スル建議案 委員長 古賀 庸藏君 理事 松本孫右衛門君

一指定セラレタル委員左ノ如シ 公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案 宮 部 襄君 石 井 信君

神前 修三君 井 上 要君 荒川 五郎君 城 重 雄君

統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外二件 丹後 直平君 伊藤傳右衛門君

後藤 文一郎君 降旗 元太郎君 安達 謙藏君 富島 暢夫君

租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案 海野 謙次郎君 上野 彌一郎君

岩元 信兵衛君 野木 善三郎君 與村善右衛門君 嶺山 時善君

國有林野拂下ニ關スル建議案 宮古 啓三郎君 中西 六三郎君

牧 野 元君 橫 井 甚四郎君 中 林 友信君 安藤 新太郎君

河 井 重藏君 荒谷 桂吉君 佐藤 伊助君 石谷 傳四郎君

鈴木 德兵衛君 近江 谷 榮次君 米國「セームスタウン」博覽會出品國庫補助ニ關スル建議案 村松 愛藏君 根 本 正君

與野 市次郎君 竹村 良貞君 天野 董平君 松元 剛吉君

學制及學事ニ關スル質問書 右成規ニ據リ提出候也 明治四十年三月十九日 提出者 荒川 五郎 贊成者 安達 謙藏

第一 教育ノ大方針ヲ確立シテ教育者ノミナラス一般衆庶ノ遵由スヘキ所以ヲ明ニスルハ國家ノ最大要務タルコト言フ要セス是ヲ以テ系統ヲ正シテ學制ヲ制定スヘシトハ多年朝野ノ宿論タリ知ラス現文部大臣ハ如何ナル用意ヲ計劃セラレハコトアリヤ

第二 曩ニ制定發布シテ小學校兒童ニ實施セラレタル國語及字音假名遣ヒ法ハ世人ノ俱ニ大ニ批難セル所ナリシカ今又更ニ之レカ改定案トシテ高等教育會議ニ諮

官報號外 明治四十年三月二十日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第十八號 議長ノ報告

問セラレタルモノヲ見ルニ均シク從來ノ國用竝ニ慣習ト一般セザルノミナラズ一般國語學者及文學社會ニ於テモ否認セラレ居ル所ナリ然ルニ文部大臣ハ尙之ヲ實施セントセラル、カ

第三 小學校教員ノ待遇ヲ改善セサルヘカテアルコトハ既ニ社會ノ定論トナレリ然ルニ政府ハ唯一ノ教育表彰ノ法ヲ開ケルノ外更ニ施設經營セラル、トコアルヲ開カシテ今日ノ現狀ハ倍有爲ノオヲ他ニ驅出シツ、アリ此ノ如キハ國民教育ノ目的ヲ達スル所以ニアラス實ニ國家ノ大ニ憾ムヘキナリ文部大臣ハ果シテ如何ノ手段ヲ執ラントセラル、カ

第四 文部大臣ハ客年六月一日ノ訓令ヲ發シテ青年子女ノ意氣銷沈風紀頹廢ノ傾向アルヲ憂慮シ社會風潮ノ輕薄シ流レ青年子女ニ對スル誘惑日益多キヲ說キ學校ノ内外ヲ問ハス嚴ニ之ヲ禁遏スルノ方法ヲ取ラサルヘカラストナシ又極端ナル社會主義者カ教員生徒等ヲ誑惑シ危險ノ思想教育界ニ傳播センコト國家將來ノ大ニ最塞心スヘキヲ說ケリ然ルニ爾來大臣カ之レカ戒飭禁遏ノ方法ヲ取ラシタルコトヲ開カス大臣ハ果シテ一片ノ訓令ヲ以テ其目的ヲ達シ得ヘシトセラル、カ

第五 曩ニ償金ヨリ折キテ教育基金ヲ置キタルハ戰功カ教育ノ普及發達ニ因ルモノ多キヲ明ニシ之レカ利子ヲ使用シテ獎勵スル功ヨリモ寧ロ基金其者カ間接ニ教育者界ニ與フルノ影響ハ大ナルモノアリ故ニ之ヲ日露戰役ニ使用セラレタルモ戰役竣リ臨時國庫剩餘金ヲ必要ノ國費ニ充テラル、ニ當テハ先ツ第一ニ此基金ヲ補充セラルヘキハ必須中ノ必須ノ事タルヲ信シ天下ノ僭ニ囑望シタル所ナリシニ政府ハ唯教育獎勵費ヲ置クノ外之レカ基金ノ填補ヲ圖ラル、所ナシ知ラス大臣ハ果シテ何レノ時ニ於テ之ヲ填補セントセラル、カ

第六 清國留學生ノ數ハ合ヤ一萬ヲ數ヘ將來益其多キヲ加ヘントス善鄰ノ爲メ將タ國家自營ノ爲メニモ之ニ對スル措置ハ其關スル所極メテ重且大ナルモノアルヲ信スルナリ然ルニ目下ノ狀況ハ或ハ彼我ノ關係ヲ乖離セシメ將來國交ノ障害ヲ致スヤノ虞レアリ文部大臣ノ之ニ對スル手段及方針如何

海馬島ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
明治四十年二月十九日

提出者 花井 卓藏 小川 平吉 磯部 四郎
贊成者 森 肇 久保田與四郎
外四十七名

海馬島ニ關スル質問主意書
第一 政府カ樺太海馬島ニ於ケル漁業ノ許可ニ關シ採ル所ノ方針如何
第二 政府カ明治三十九年度ニ於テ海馬島ニ何等ノ緣故ヲモ有セサル大野龜三郎ニ同島ノ漁業ヲ許可シ同島ニ緣故及功績ヲ有スル志田力二ニ之ヲ許可セザリシ理由如何

第三 政府カ明治四十年度ニ於テ大野龜三郎ニ海馬島六箇所ノ漁業ヲ許可シ志田力二ニ僅ニ二箇所ノ漁業ヲ許可シタルニ過キサル理由如何

第四 海馬島ニ於テハ明治三十七年四月以降左ノ幾多ノ犯罪行ハレタリ
(一) 官名詐稱詐欺取財

(一) 物品及建造物毀壞
(二) 強盜制縛及毆打
(三) 殺人未遂
(四) 殺人
(五) 殺人
(六) 建造物毀壞

前記ノ被害者ハ或ハ宗谷警察署爲泊分署ヲ經テ札幌地方裁判所ニ或ハ之ヲコルサコフ憲兵本部ニ或ハ之ヲマウカ憲兵分隊ニ告訴シタルニ當該官憲ハ更ニ檢舉ノ手續ヲナサス又マウカ憲兵分隊カ告訴ヲ受理セザリシ理由如何
樺太ニ於ケル漁業ハ各漁場毎ニ漁業料ヲ競争入札ニ附シ其落札者ニ許可スヘキコトハ樺太漁業假規則ノ規定スル所ナレトモ海馬島ハ同規則ノ支配外ニ立ツモノナルヲ以テ民政長官ノ隨意處分ヲ以テ漁業ヲ許可スルコトヲ得ヘシトハ當局者ノ解釋ナリ此時ニ於テ海馬島ニ緣故アリ功績アルモノニ之ヲ許可シキハ行政官ノ當ニ踏ムヘキ軌道ニシテ現ニ熊谷民政長官モ亦此方針ヲ採ルヘキコトヲ明言セリ而シテ志田力二ハ同島ニ左ノ緣故及功績ヲ有ス

(一) 明治二十四年以降屢海馬島ヲ探險シ明治三十二年中路人ハバーエル、スムイ、スロースキーノ名義ヲ以テ漁業ノ許可ヲ露國政府ニ出願シ明治三十四年中故アリテスムイ、スロースキート缺ラ分チ更ニ露人シタベリノ名義ヲ以テ之ヲ出願シ其出願中日露國交ノ斷絶ヲ見ルニ至リタルモノニシテ其間露國ニ出張シハマロフスク總督府ニ出張スルコト二回ニ及ヘリ

(二) 明治三十八年五月同島ニ渡航シ左ノ雅林ヲ植シタリ
一日ノ出カ浦 落葉松一千本植付
一日ノ出カ浦 同一千二百本植付
一日ノ出カ浦 同五百本植付
一日ノ出カ浦 同八百本植付
一日ノ出カ浦 同五百本植付
一日ノ出カ浦 同五百本植付
一日ノ出カ浦 同五百本植付
一日ノ出カ浦 同五百本植付
一日ノ出カ浦 同五百本植付
一日ノ出カ浦 同五百本植付

(三) 同島最難所ノ山道ヲ全長凡ツ一里餘私費ヲ以テ開鑿シ以テ一般出稼人ノ通路ニ供シタリ今日同島ニ渡航スル者ハ何人ト雖モ皆此道路ニ賴ラサルヲ得ス
(四) 同島ノ内十三箇所ハ漁業豫定地トシテ開拓シ草刈リ地均シヲ爲シ且ツ道路ヲ開鑿セリ

二 露兵ノ擊退
明治三十八年六月二十八日露兵二十七名同島ニ來襲ス、志田力二ハ決死隊ヲ組織シ之ヲ戰ヒテ敵ノ指揮官以下六名ヲ斃シ殘敵ヲ擊退シ且ツ數多ノ分捕品ヲ獲テ後大本營ニ提出セリ、事實上ノ占領ヲ爲シタリ、此時志田力二ノ部下相坂善次郎不幸敵彈ニ斃レタリ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

三 第四艦隊ノ嚮導及望樓ノ保管
志田力二ハ明治三十八年七月六日北見國利尻島ニ於テ第四艦隊司令官ヨリ樺太西海岸水路嚮導ノ重任ヲ命セラレ直ニ其旗艦ニ乘組ミタリ同月七日同艦隊ハ海馬島ニ到着シ上陸シテ最高地點ニ日章旗ヲ翻シ此ニ同島ハ我軍ノ占領ニ

歸セリ翌八日御用濟トナリ軍艦臺南丸ニヨリ利尻島ニ送還セラレ謝狀ヲ司令官中尾海軍少將ヨリ授與セラレタリ(謝狀アリ略ス)志田力二ハ明治三十八年十月二十四日一瀬横須賀鎮守府上等筆記ヨリ同島ニ於ケル望樓附屬建築物一切ノ保管ヲ委託セラレ尋テ同三十九年二月二十日福永横須賀海軍經理部長ヨリ海馬島海軍附屬建築物一式ノ保管ヲ委託セラレ爾來引續キ保管中ナリ(保管委託書一通アリ略ス)

四 水難救済及組合ノ設置

明治三十八年五月四日同島ニ於テ築山健太郎ノ漁夫九名暴風ノ難ニ遇ヒタルヲ救助シ同年六月一日漂流者内田増吉外拾貳名ヲ救助シタルヲ始メトシテ水難救済ノ事ニ當リタルコト少ナカラス而シテ帝國水難救済會ハ同島ニ救済組合ヲ設置スルノ必要ヲ認メ會長吉井伯爵ハ志田力二ヲ其組合長ニ任命シ同組合同年六月一日ヨリ事務ヲ開始セリ

五 海馬島ノ命名

本島ハ原名「トドモシ」ト稱ス「ト」トハ同島ニ棲息スル海獸ヲ云フ「モシ」トハ島ト云フ意味ナルヲ以テト「居」ル島即チ「トモシ」ト唱エラレタリ然レニ明治八年樺太島カク島列島ト交換セラレ、ヤ露國ハ之ハ「モシロン」島ト改稱セリ乍然邦人ハ「アイヌ」土人ノ通稱タル「トモシ」即チ「トモシ」ト唱ヒ居リシモ志田力二カ同島ニ開拓經營ノ目的ヲ立テ是ヲ海馬島ト命名セルニ因シ以テ今日ノ通稱トナルニ至レリ

此ノ如クシテ志田力二ハ海馬島ニ於テ深大ナル緣故ヲ有シ殊ニ其功績ニ至リテハ又沒スヘカヲサレモアリ然レニ政府ハ明治三十九年度ニ於テハ鯨漁期既ニ過キ去リタル同年五月三十日付ヲ以テ鯨漁業ヲ志田力二ニ許可セシメテ大野龜三郎ニ許可シタル殊ニ熊谷民政長官ノ如キハ其許可ノ公表以前四月二十七日京橋銀座局ヨリ長官名義ヲ以テ大野ト相通スル漁業經營者五十嵐億太郎(北海道々會議員)ニ同日午後一時四十分發電報ヲ以テ「キョウウチヤクシユニヒサツカヘナシ」ト便宜ニ豫メ通知シタルハ頗ル奇怪ナルノミナラス大野龜三郎ハ海馬島ニ何等ノ緣故ヲ有スルモノニ非ス

然レトモ明治三十九年度ニ於テハ政府ハ志田力二ノ海馬島ニ於ケル緣故及功績ヲ知ラサリシトセンカ左スレハ之ヲ認ムルト同時ニ大野龜三郎ニ對シテ許可ヲ取消シ志田力二ニ全部ノ許可ヲ與フヘキ筋合ニアラスヤ

假ニ三十九年度ニ於ケル大野龜三郎ニ對シテ許可ヲ以テ一ノ緣故ナリトセハ漁場ヲ折半シテ均等ニ許可ヲ與フルハ最モ公平ナル處措ナリト信ス然レニ明治四十年度ニ於テ大野龜三郎ニ六箇所ノ漁業ヲ許可シ志田力二ニハ僅々二箇所ノ漁業ヲ許可シタルニ過キサルハ如何ナル理由ナリヤ

是レ第一乃至第三ノ質問ヲ提出スル所以ナリ
明治三十七年四月以降海馬島ニ於テ行ハレタル犯罪ハ質問事項第四ニ掲グル所ノ如クニシテ之ヲ細叙セハ下ノ如シ

一 官名詐稱及詐欺取財

明治三十七年四月中ヨリ同年七月頃迄甲辰義會員福本方作阿部茂惣八等ハ軍服ヲ著テ勳章ヲ懸ケ軍刀ヲ帶ヒ參謀本部ノ軍人ナリト詐稱シ同島出稼人ニ對シテ漁業稅トシテ收獲物ノ五割以下ヲ奪取シ又渡島券ト名ケ同島出入者ニ證明書ヲ交付シタリト云フ

二 強盜制縛及毆打

明治三十七年八月志田力二ノ部下相川直之等本島中尾泊ニ上陸シ小屋掛ケ爲シ居タル所日本人三名抜刀棍棒ヲ携ヘ劍付鐵砲ヲ所持スル樺太土人六名ヲ從ヒテ入り來リ土人ニ命シテ相川等ノ荷物(米鹽味噌其他日用品)一切ヲ其乘リ來リタル船ニ積ミ込ミ持チ去ラシメ相川等ノ一行ヲ船中ニ監禁シ相川ヲ其事務所ニ連レ行キ同入ヲ審問シタル未阿部茂惣八福本方作等ハ棍棒ヲ以テ相川ノ頭部ヲ亂打シ且配下ノ者ニ命シテ之ヲ縛シ尙毆打ヲ續ケ利ヘ頭部ニ放尿シテ有ユル凌辱ヲ加ヘ遂ニ人事不省ニ陥ラシメタリ偶利尻郡鷺泊村瀧川瀧三ナル者來リ相川ノ爲メニ百方哀願シ同人ハ辛シク死地ヨリ救ヒ出サルヲ得タリト云フ

三 物品及建造物毀壞

明治三十八年七月中ヨリ同年八月三至七迄之間ニ於テ甲辰義會員ハ左ノ所業ヲ爲シタリト云フ

(甲) 明治三十八年七月月中松本團四郎ナル者番人ヲ強迫シテ之ヲ追ヒ拂ヒタル末志田力二所有ノ標槍ヲ拔キ取リ之ヲ海中ニ投棄シタリ

(乙) 同年同月中長澤貞二郎森山米之丞ハ小池海馬島海軍望樓長ヨリ他人ノ家屋ヲ破壞スルハ甚チ不法ナル行爲ニ付キ左標ナルコトハ爲スヘカラスト説諭セラレタルニモ拘ハララス阿部、松本、長澤、高橋、森山、中村市太郎龜本庄八等ハ志田力二ノ保管ニ係ルアイヌ物置倉庫ヲ破壞シタリ

(丙) 同年八月中前記ノ數名ハ志田力二所有ノ住宅二棟ヲ破壞シタリ

四 殺人未遂

明治三十九年五月三日相川直之ハ人夫ヲ引連レ鯨漁業ニ從事中午前十時三十分頃甲辰義會ノ事務所ノ前ニ多人數群ヲ成シ志田力二ノ事務所ノ方ニ向テ發砲スル者アリ須臾ニシテ山本豐次郎ナル者志田力二ノ事務所ニ到リタルニ相川ハ不在ニテ銃ヲ懸ケ置キタルハ豐次郎ハ第一ハ人夫部屋ニ踏ミ込ミ來リタルモ人夫ハ濱ニ出テ唯飯糰一人殘リ居タルノミナルヲ以テ更ニ土足ノ儘ニテ第二ノ部屋ニ闖入シ部屋頭伊藤健嗣ノ居合セタルヨリ同人ニ對シ「此野郎殺シテ仕舞フツト脅迫シテ鐵砲ヲ擲シ相川ヲ出セ隠シテ置クト貴様ヲ殺スツト暴言ヲ吐キ散ラシテ相川ハ何事ノ起リシヤト磯船ニ乘リテ上陸シ第二ノ人夫部屋ニ赴キタルニ此時豐次郎ハ太田、伊藤ノ兩人ヲ脅迫シ居タカト云イナカラ鐵砲ヲ擲シタリ相川ハ身ニ寸鐵ヲ帶ヒサルヲ以テ矢庭ニ鐵砲ニ飛ヒ付キ豐次郎ノ所持セル銃ヲ奪ヒ取リ早くモ附近ノ岩石ニ打チ付ケ其用ヲ爲サ、ラシメタリ豐次郎ハ相川覺エテ居ロト云ヒツツ渠等ノ事務所ニ引取リタリ

相川ハ晝飯ヲ喫シテ又沖合ニ出テント思ヒ居タル所沖合ヨリ大音ニテ相川サン「往ッタク」ト呼フ聲聞ユ依テ相川ハ食事ヲ中止シ部屋ノ外ニ出テントスル時山本豐次郎ハ抜刀ヲ携ヘ來リ長澤貞一郎梶三五郎ノ兩人其後ニ尾ニ豐次郎ハ相川ヲ目蒐ケテ斬リ掛リタリ相川ハ是ニ於テ有合ノ棍棒ヲ把リ之ヲ防クノ已ムヲ得サルニ至レリ此時眞一郎飛ヒ込ミ來リ相川ニ對シヒストルニ發テ放チタルモ中ラズ彼是スル内伊藤健嗣其他二三人馳付ケ來リ豐次郎ノ刀ヲ奪ハントシタルニ梶三五郎ハ僕ニ渡セト云ヒツ、其刀ヲ受取リ持チ去リタリ夫レヨリ眞一郎ハ當日志田力二部下ノ者カ沖合ヨリ漁獲ノ鯨ヲ積ミ込ミ來リタル船ニ乘込ミヒストルヲ振廻シ

漁夫曲戸三郎ナル者ニ差向ケタレハ曲戸ハ必死トナリテ眞一郎ヲ組伏セ之ヲ奪ヒタルモ後遂ニ取還サレタリ...

五 殺人

明治三十九年七月四日夜相川直之ハ小屋ニ在リテ書面ヲ認メ終リテ寢ニ就カントシ午後十時便所ニ往カント...

六 建造物破壊

渠等ハ相川直之ノ負傷シタル翌日即チ明治三十九年七月五日夜日ノ出カ浦ナル清水瀧ノ下ニアル志田力二ノ小屋ヲ破壊シ其材木ハ之ヲ濱邊ニ投棄シ且ツ其跡ニ自ラ小屋ヲ建設シタリト云フ...

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス ○武藤金吉君 チョット私ハ質問書ノ答辯ニ付キマシテ一言致シマス...

(荒川五郎君登壇)

○荒川五郎君 諸君、茲ニ學制及學事ニ關スル質問ノ要旨ヲ簡單ニ説明シマシテ、其答辯ヲ要求致シマス、抑、教育ノ大方針ヲ確立シテ其據ル所ヲ明カニ致シマス...

退學生ヲ作ルト云フ制度ニナッテ居リマスカラ、小學是ハ義務教育ノ淵源——延長ト云フコトガ問題ニモナッテ居リマスカラ、措キマシテ高等小學ニシテモ、高等小學ヲ卒業シテ、トウ云フ人ヲ作ルカ、中學——中學ヲ退ケテ者ハドウナルカ、中學ハ普通ノ實用ノ才、中等國民ヲ養成スベキモノデアラノニ、マルテ高等學校ノ豫備門ノ如クナッテ、或ハ數學ノ如キ高等代數或ハ三角術ト云フヤウナ普通一般ニハ必要ノナイ、殊ニ兒童學生ノ頭ヲ苦メル學科ヲ澤山ニ課スルガタメニ、實用ノ學科ガ甚ダ不進歩ノ形ニナルカラ、中學卒業生ハ、判任文官ノ資格アリト定メラレテアルニモ拘ラズ、其實用スラ今日ナサヌ有様ニナッテ居ル、是ガ即チ一方ニハ大學萬能ノ弊ト、又一ツニハ學問學科ト云フモノヲ必要デアルトシテ——外界ノ學問學科ヲ必要トシテ、學生生徒ノ腦力ノ發達如何ヲ顧ズシテ學科ヲ詰込ムノ弊實ガ、即チ今日ノ如ク其目的ヲ達スルコトノ出來ナイヤウニナラシメコトガ多イ、現ニ今日中學ノ卒業試驗ヲ受ケル、ソレデ惱ミキタル腦髓ヲ直チニ高等學校ニ向ケテ、サウシテ競争試驗ニ應ジナケレバナラス、サウシテ其希望スル多クノ學生ハ十二ノ入ル、ニ足リナイ有様デアリマスデアリマスカラ、東京府下ノ學生ニシテモ五箇年或ハ七箇年、年々續イテ高等學校ノ試驗ヲ受ケツ、アルヤウナ隨分氣ノ毒ナ者モ澤山アルヤウナ有様ニナッテ居ル、デアリマスカラ其結果半途退學ニナルノ不幸ヲ見シケレバナラヌガタメニ、我目的ヲ達スルコトノ出來ナイガタメニ、或ハイロ／＼ニ墮落致シタリ、或ハ空想ノ煩悶ヲ致シタリ、今日ノ學生ノ有様ハ昨年ノ六月文部大臣ガ風紀訓令トカ世間ニ唱ヘラレテ居ル一ツノ訓令ヲ出サレテ、今日ノ學生ハ就學中ノ者モ多クハ奢侈ニ流レ空想ノ煩悶ヲ甚シキハ放縱浮靡ニシテ操行ヲ紊ル者ガ多イト云フコトヲ、文部大臣ノ訓令ヲ以テ今日ノ書生社會ヲ斷言セラレタノデゴザイマス、斯ノ如キニ至ルノハ甚ダ書生ガ惡ルイガ、前ニ申述セタル制度ノ罪、今日ノ大學萬能ノ弊、學科詰込ノ弊ガ此ニ至ラシメタノデアアル、然ルニソレヲ以テ此ニ至ラシメナガラ學生ノ罪ニ歸シテ、訓令ヲ以テ各メルト云フコトハ、甚ダ本末ヲ誤シタモノデアリカト考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ中學ナリ高等學校ナリ、半途退學生ハ今日非常ニ多イガ、是ハ目的ヲ達スルコトノ出來ナカクテ者デアアル、然ラバ目的ヲ達シテ大學ニ這入ツ者ハ如何デアルカ、今日大學生並ニ大學ヲ卒業シタル人、實際ニ就イテ見マスルノニ、其中學ヨリ高等學校トシテ是ヲ望マセ、而シテ其受クルトコロノ學科ハムツカシイ、而モ希望者ガ多イカラ競争ヲサセルト云フヤウナ譯デ、人ノ身體ヲ打ツノデアアリマセ又ガ、其結果ガ學生生徒ノ腦髓頭ノ働キニ向テ非常ナル打撃鞭撻ヲ加ヘルト同ジコトデアラウト思フノデアリマス、其結果ハ如何ニ現ハレテ居リマスカ、身體ハ弱シ精神ハ薄弱ニ致シテ、サウシテ今日一般ノ有様ニ於テ悲ムベキ現象ヲ來シテ居ル、此處ニハ詳シキ表ヲ持ッテ居リマスケレドモ手短ヲ要スルガタメニ、擷摘シテ申シマスガ、二十四年カラ昨年マデ大學卒業生ノ死亡率ヲ調ベテ見マスルノニ、百人ニ付イテ七人カラ七人一分六厘、多クハ七人五分五厘ト云フ割合ヲ示シテ居リマス、而シテ一般國民ノ死亡率ハドウデアルカ、生レ落チテ赤ン坊カラ六十七八九十二至ルマデノ者ヲ併セテ、僅ニ百中ノ一人九分乃至一人ニ過ギナイノデアリマス、若シ大學卒業生ノ年齢ト認メラレベキ先ツ年ガ、一十五カラ五十五位マデノ間ノ一般國民ノ死亡率ハ、百人ニ付イテ僅ニ一人一三ト云フヤウナ割合ニナッテ居リマス、一般國民ノ死亡率ニ較ベレバ大學卒業生ノ死亡率ハ殆ド六倍ニモ及ンデ居リマス、大學ヲ卒業致シテ者ハ先ツ生活ノ狀態モ一般國民ヨリ上デゴザイマセウ、又衛生思想モ發達シテ居リマセウ、デアアルカラ一體ナラバ死亡率ガ一般國民ヨリ少ナルベキ筈デアアルノニ、一般國民ヨリ六倍七倍ニ至ルト云フコトハ、即チ其原因ハ茲ニ探究ヲ要セズシ

テ分ルコトデアラウト思フノデゴザイマス、其大學ヲ卒業スルニハ決シテ口デ出來ルモノデアナイ、小學中學ハ姑ク措イテ、高等學校ノ費用デモ、高等學校ノ一箇年國家ヨリ受クル費用ガ四百圓ガ、年々一人ニ付イテ要シテ居ルノデアアル、大學ニ至レバ一人千圓ヲモ要スルノデアリマス、斯ウ云フ大學ト云フモノヲ置イテ、ソレニ翁然トシテ學生ヲ集ラシテ、而シテ其處ニ來タ者ガ身體モ弱シ、生命モ縮ンダト云フヤウナ者デ、サウシテ日本國運ノ發達進歩ノ中心トナルベキ、ソレ等卒業ノ學生ガ斯ノ如キ狀態デアルト云フコトハ、我國家ノ前途進運ニ鑑ミテ甚ダ残念ノ至リデハゴザイマセウカ、死ンダ者ガ——死ヌル者デ斯様ニ六七倍多イ割合ト致シマスレバ、死ナナイ者デモソレダケ身體ガ弱クナル、一般ノ人民ヨリ死ナナイトモ一年中無缺勤ヲ勤ケル者ガナイ、時々病氣ヲ起ストカ或ハ精神ガ快暢ガナイガタメニ、活潑ニ相當ノ事務ヲ勤ケルコトガ出來ヌトカ、ソレ等ヲ算用致シマスレバ、今日ハ實ニ學生ノ腦髓、學生ノ精神ヲマルテ虐ケル有様ト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、是等我學制ニ一定ノ方針ガナク、我學制ノ系統ニ秩序ガ立テ居ナイコトガ一ノ大ナル缺點、國家ノ大不幸ト言ハンケレバナラスト信スルノデアリマス、ソレナラバ系統ハ立ッテ居ナイガ、總テ大學ノ豫備門デアレバ、豫備的ノ聯絡ガ付イテ居ルカト云ヘバ、ソレハ付イテ居ナイノデアアル、中學ヲ卒業シテ高等學校ヘ行ク、其間ノ三箇月バカリノ日子ハ、或ハ他ノ學校ヘ行クトカ、何かセヌケレバ或ハ徵兵ノ關係、其他ニ於テ出來ナイ、我意思テナイ——望ミテナイ學校ニ籍ヲ置カンケレバナラヌヤウニナッテ居ルノハ、一般ノ學校ガ大學豫備的デアアルニ拘ラズ、其聯絡ガ更ニナイガタメニ、天下ノ中學卒業生ヲシテ其卒業以後高等學校ニ至ルノ間ニ於テ、學生ノミナラス父兄等ニ心配ヲ與フルコトハ、果シテドレダケデアルカ分ラナイノデアアル

○高橋安爾君 唯今請求致シマシメ會計法改正ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(杉田定一君) 唯今發言中デアリマス——會計法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開キタイト云フ高橋安爾君ヨリ請求ガアリマスガ、許可シテ御異議ハゴザイマセウカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○大岡育造君 是マデ遠慮シテ居リマシタガ、大船渡ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス

○議長(杉田定一君) 大岡育造君ヨリ大船渡ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハゴザイマセウカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○荒川五郎君 今日ノ學制ガ系統ガ立タズ、教育ノ方針ガ立タナイ結果、國家國民ノ前途ニ非常ナル損害ヲ與ヘテ居ルコトハ、先ツ大體斯ノ如キ有様デゴザイマス、是ハ最モ國家的デ、苟モ今日ノ政府ガ此進運ニ處スル以上ハ、此大事ナル國民教育——國家教育ノ大方針ヲ速ニ確立セラレテ、以テ天下一般ニ遵由スベキヲ示シ、又學制其ノ所ヲ得テ發達セシムルヤウニシナケレバナラスコト、信シマス、之ニ付イテハ前文部大臣ハ、三十箇條ノ教育、或ハ制度要目ト云フモノヲ示サレテ、其際ニ實務ニ當ッテ著々經營中デアルト云フコトヲ答ヘラレテアルガ、現文部大臣ハ之ニ對シテ果シテドウ云フ施設、其他方針ヲ執ラレテアルカ、是ガ第一ノ質問デアリマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ) 次ニ最モ大事ナ問題ハ國語及字音假名遣ノ制定デゴザイマス、國語ハ教授ニムツカシイ——ムツカシイカラ之ヲ簡單ニヤウト云フ精神ハ、決シテ惡ルイコトデハゴザイマスマイケレドモ、如何ニ國語ノ書方ヲ簡易ニ致シマシテモ、世ノ中ニ通ジナイ不通ノ國語ヲ教授

シテ、ツレガ何ノ效ガゴザイマセウ、全體此國語ハ國民共通ノモノデアアル、國語ノ問題ハ國家問題デアランケレバナラヌ、畜ニ之ヲ僅カ一部ノ人ノ俄思出シテ或ハ種々ニ縮メタリ、節バシタリスルコトハ、其一事一例ノ影響ハ五千万同胞ノ上ニドレダケノ影響ヲスルコトカ知レナイ、先キニ棒ヲ引ク、假名ヲ政府ガ拵ヘテ、小學校兒童ノ字音假名遣ヒニ棒ヲ使ツタトコロガ、世間ノ非難、殊ニ國語學者モ、文學者モ共ニ大ナル非難ヲ致シタガタメニ——デモゴザリマスマイガ、是ヲ又中途カラ廢シテシマツタ、アレダケ天下器々ノ問題トナテ居ル中ニ、棒引ヲ一般幼稚ナル兒童ニ施シテ、サウシテ又卒然トシテ改メ、斯ノ如キ有様デ、今日國民ノ知識、國民ノ品位ハ國運ノ發展ト共ニ非常ナル進歩ノ速度ヲ持タヌケレバナラヌトキニ當リテ、斯ノ如ク輕率ナル、斯ノ如ク無定見ナルモノヲ以テ兒童ヲ強イラレト云フコトハ、實ニ國家ノ大ニ恐ルベキコト、言ハヌケレバナラヌ、所ガ其國語デス、先キニ定メラレタル國語モ、一般ノ人ガ所謂是ハ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スモノデアルト言ウテ居ツタ、今度ノ文部大臣ハ是ガ改訂ヲ高等教育會議ニ諮問セラレタ、其事タルヤヤハリ過ヲ重ネルノミ、所謂火ヲ救フニ油ヲ以テスルモノデアリカ、是等國家問題ハ宜シク國民ノ發達ノ上ニ、國民性ノ特性ノ上ニ其主義方針ヲ確立シテ、以テ其據ルベキモノヲ示サナケレバナラヌモノト信ジマスガ、文部大臣ハ果シテ此高等教育會議ニ諮問セラレタ、其案ヲ以テ、直チニ實際ニ行ハレル積リテゴザリマスカ、是ガ第二段デアリマス、次ニ小學校教員ノ待遇デアリマス、小學校教員ノ待遇ニ付イテハ、或ハ學校ノ時間外ニモ教授ノ準備、生徒製作物ノ添削、是正、イロ／＼仕事ガアルト、根本君モ申サレマシタ、成程ツレモゴザリマスカ、今日ノ小學校教員ノ活動シテ居ル有様ハ、決シテ是ニ止ラヌノデアリマス、學校家庭ノ範圍ヲ脱シテ、社會ノ方面ニ活動シテ居ルコトハ、實ニ非常ナルデアリマス、或ハ父兄姉妹談話會、或ハ戰時ニ於テハ軍人後援會、或ハ婦人會、青年會、ツレ等ノ事業ニ活動シ盡力シテ居ルコト、云フモノハ、私ノ地方ハサウデアリマスカ、他モ殆ドサウデアラウ信ジマス、斯ノ如ク活動シヨル教員ノ俸給ハドウデアアルカト云ハ、地方ニ依テ違ヒモゴザイマセウケレドモ、僅ニ二十四五圓ノ平均ヲ以テヤツテ居ル、サウシテ教員ハ外ノモノト違ヒマシテ、知識ノ修養ニ努メシケレバナラヌ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)或ハ練習モシ、教育會其他種々新知識ヲ求ムル途ヲ講センケレバナラヌ、然ルニ巡查看守ノ如キハ既ニ増俸セラレタ、判任文官ノ如キモ先ニ待遇ヲ進メラレテモ、ソレモ待遇ガ不十分ト傳ヘラレテ居ル今日、小學校教員ヲ以テ妻子ヲ養フニ足ラズ、面目ヲ維持スルニ足ラヌ、左様デアアル、國家ガ優待スベキハ輿論デアアルニ拘ラズ、先月文部次官ノ談話トシテ諸新聞諸雜誌ニ現ハレテ居ルノヲ見レバ、待遇ノ宜クスルハ宜イガ、文部獨リテハ出來ヌト云フヤウ冷淡ナル話デアアル、之ヲ以テ此國民教育ヲドウシテ發達進歩セシムルコト出來ルカ、今日鐵道、電信、電話、種々ニ施設スルコトガ多イガ、其仕事、ソレヲ利用スル人ガ第一ニ出來ナケレバナラヌ、何モ必要デアラウガ、人ヲ作ルコトハ、ヨリ必要ナケレバナラヌノデアアルカラ、小學校教員ヲ優待スルハ國民ヲ優待スル所以デアアル、國民ノ品位ヲ高メル所以デアアル、何物ヲ措イテモ是ハ國家トシテ優待——優待デナクテ相當ナル待遇ニスルコトヲ是非シナケレバナラヌノデアアル、所ガ文部ノ施設ハ曩ニ教員表彰ノ規程ヲ設ケテ、僅ニ教員ニ賞狀若ハ金ヲ與ヘラレタノミデ、又今日議案案出テ居ル小學校教員扶助料退隱料ノ多少ノ改正ノ如キ、實ニ云フニ足ラヌコトデアリマス、之ヲ以テ決シテ國家ガ努ムベキ教育者ノ待遇ヲ相當ニ教スト云フコトハ、マダ／＼及デトコロデアリト考ヘマス、是等ニ付イテハ文部前途ノ方針ニ付イテ其説明ヲ聞キタイ、次ハ昨年ノ風紀訓令ノコトデアアル、之ニ付イテ學生社會ガ紊レテ居ル、或ハ危險ナル社會主義ヲ教員生徒ガ鼓吹シテ、ソレガタメ建國ノ大本ヲ

蔑視シ我社會ヲ紊亂スル如キ危險ノ思想ガ、教育界ニ傳播シテ教育ノ根柢ヲ動カスヲ虞ルト云フコトヲ文部大臣ハ斷言サレテ居ル、然ラバ此處ルベキ危險ニ向テ如何ナル施設ヲシテカ、立國ノ大本ヲ動カス又ハ教育ノ根柢ヲ動カス大ニ向テ如何僅カ一片ノ訓令デ目ヲ達セラルトスルカ、其他風紀ノコト、又ハ青年女子ノ煩悶ノコト、ソレ等ニ付イテモ訓令ハ出テ居ルガ、一般ノ學校デハナイ、文部大臣直接ノ監督ニ係ル學校ハドウデアアルカ、外國語學校ノ有様ハドウデアアル、音樂學校、美術學校ノ有様ハ如何、互ニ黨派ヲ設ケ、校內ノ風紀ハマルデナクテ居ナイ、特ニ大學ノ如キ、京都大學ノ如キ、理工科ヲ文科ノ反目ノタメ文科ニハ電氣ヲ送ルコトヲシテ吳レヌト云フタメ、行燈ヲ點シテ教授シタト云フモ公ニ傳ヘラレテ居ル、文部直接ノ學校スラ斯ノ如キコトデ、天下ノ學校ヲ如何ニ制セルカ、カ、是ハ一片ノ訓令ヲ以テ此大事業ヲ矯正セラルト思フノデアアルカ、此危險ナル社會主義或ハ風俗ノ壞亂、素行ノ紊亂、青年女子ノ煩悶等ノ救済ニ付イテ文部省ノ方針ハ如何デアアルカト云フコトガ第四條デアリマス、ソレカラ次ハ償金ノ問題デアリマス、曩ニ日清戰役ノ償金ヲ割イテ教育基金ヲ設ケラレタノハ、此基金ノ利子ヲ使フト云フヨリ、教育ノ功勞ヲ戰争ガ出來タ、教育ノ功與テカアリト云フコトガ、教育基金ノ上ニ示サル、間接ノ影響ガ、國民教育ノ上ニ與フルトコロ、非常ニ大キイデアアル、然ルニ日露戰役ノタメニ之ヲ使ヒ、戰役終ラ今日剩餘金ヲ以テイロ／＼國家必要ノ費用ニ充テ、居ル以上、先ツ第一ニ是ハ補充ヲシナケレバナラヌト思フ、全體償金デモ穴藏ニ打込シテ使ハヌト云フ議論ガアルニ、今日剩餘金ハ決シテ償金デモナイ、是借銀シタ金デアアル、特ニ教育基金ハ今日皆其功能ヲ感謝シテ居リ、又初メ設ケタ趣意ニ對シテハ先ツ第一ニ填補セラレベキモノデアアル、然ルニ文部大臣ハ唯教育獎勵費ト云フモノヲ置イテ、基金ノ填補ヲ計ツテ居ラヌ、知ラズ文部大臣ハ何レノトキ填補セラル、積リカ、之ハ國民教育ニ關スルコト大ナル問題デ、皆此前途ヲ首ヲ伸バシテ聞カンシテ居ルコトデアアル、故ニソレニ對スル大臣ノ方針ヲ伺ヒタイ、次ハ清國留學生ノコト、是ハ今ヤ非常ノ數ヲ加ヘコレヲ將來マダ多クナルニ違ヒナイ、是ハ善隣ノタメニモ、又我日本自營ノタメニモ之ニ付イテ、措置ハ重且大ナルモノデアアル、本員ノ多言ヲ要シナイ、然ルニ政府ノ之ニ對スル處置ハ如何デアアル、昨年此留學生ノ取締ヲ制定シタ結果、支那學生ノ反對運動ノタメ有耶無耶ニナクテ居ル、今日ノ學生ハ支那公使ノ證明ニ依リ日本ガ世話ヲスルト云フコトニナクテ居リナカラ、其學生ノ今日ノ有様ハ如何デアアル、實ニ清國學生ノタメニ我東京ノ風紀ニ非常ノ影響ヲ與ヘテ居ル、公使ノ證明ヲ以テ世話ヲシテ居リナカラ、今日ノ有様デハ其目的ハ何レニアアルカ知ルコト出來ナイノデアアル、特ニ此北京政府ノ證明ヲ採ツテ、支那學生ノ世話ヲスルト云フコトハ、南清方面即チ支那ノ北京政府ニ遠キ方面ノ學生ヲシテ、之ヲ驅ツテ他ニ行カシメルト云フヤウナ今日ノ有様デアリハシナイカ、今日支那カラ來タ學生ガ支那ニ歸ツテ、如何ナル言動ヲ致シテ居ル、是等ハ多言ヲ要セズシテ荷モ國ヲ思ヒ、國交際及東洋ノ將來ヲ憂フルモノハ、此支那學生ノ問題ヲ決シテ輕ニ看過スベキモノデアリト云フコトハ、諸君ノ認メラレトコロデアリマセウ、然ルニ是等ノ方針アルガ如ク、取締アルガ如ク、面目的ナキ今日ノ有様ハ、實ニ國交際ノ上、又我國風教ノ上ニ甚ハ悲ムベキコト、信ジマス、文部大臣ハ此學生ニ對スル取締、其教育ノ方針ハ果シテ如何ナル方ニ執ラレル積リデアリマスカ、此六段ニ付イテ文部大臣ノ御答辯ヲ煩シマス次第ゴザイマス

(拍手スル者アリ)

○議長(杉田定一君) 先刻報告ノ通り、刑法改正案ハ本院ノ修正ニ貴族院ハ同意セズ、且協議會ヲ開カントコトヲ請求シテ參リ、該委員ハ十名トスルト云フ通知ガアリマ

シタ田テ本院ニ於テモ十名ノ委員ヲ選舉スル必要ガアリマス、右選舉ノ方法ハ如何シテ宜シウコソイマス

〔議長指名〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 議長指名、員數十名ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第一、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、第一讀會——議案朗讀

第一 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中 第一讀會

〔書記朗讀〕

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中左ノ通改正ス

第四條 退隱料ノ年額ハ退職現時ノ俸給ト在職年數トニ從ヒ別表ニ依リ之ヲ定ム但シ在職四十年以上ノ者ニ給スヘキ退隱料ハ四十年ノ額トス

前項ニ依リ退隱料年額ヲ定ムルハ十五年以上官立公立小學校ニ勤續シタル者ニ退隱料ヲ支給スル場合ニ限ル其ノ他ノ場合ニ於テハ官吏恩給法第五條ヲ準用ス

退隱料ヲ受ケタル者前ニ退職給與金ヲ受ケタルトキハ最初ノ十年間其ノ退職給與金ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ退隱料年額ヨリ控除ス

兼職ニ依リテ受ケル加俸ハ退隱料年額ヲ算定スルニ當リ之ヲ除算スヘシ

第四條ノ二 退隱料ヲ受ケル者公立小學校教員、公立圖書館職員、小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園ノ保母、在外指定小學校教員又ハ教育事務ニ従事スル文官ト爲リタル後滿一年以上ニシテ退職又ハ退官シタルトキハ前後ノ在職在官年數ヲ通算シ後職又ハ後官ニ對スル退隱料ト前ノ退隱料トヲ比較シ其ノ額多キ方ヲ給ス

前項ノ場合ニ於テ本法ニ依ル退隱料額カ府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號又ハ在外指定小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ退隱料額ニ比較シ多キトキハ其ノ退隱料ハ本法ニ依リ之ヲ支給スルモノトス

第四條ノ三 官吏恩給法第六條、第十條、第十二條第一項及第十三條第二項ハ退隱料ニ之ヲ準用ス

退隱料等ノ支給上在職年數ノ算定ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條ニ左ノ但書ヲ加ヘ第一號ヲ左ノ如ク改ム

但シ第一號ノ場合ニ於テハ其ノ差額ニ限リ支給ヲ停止ス

一 公務ニ就キ受ケル給料ト退隱料トヲ合シタル金額退職現時ノ給料額ヲ超過スルトキ

第八條第二項以下ヲ左ノ如ク改ム

市町村立小學校正教員ニシテ教育事務ニ従事スル文官又ハ他ノ待遇文官ニ轉任シタル者退官又ハ退職シタルトキハ小學校教員ノ在職年數ニ應ジ前項ノ給與金ヲ給ス

第二條若ハ第三條ニ依リ退隱料ヲ受ケル者、他ノ法律ニ依リ退隱料若ハ恩給ヲ受ケル者、自己ノ便宜ニ依リ退職退官シタル者又ハ免職ニ處セラレ、懲戒處分若ハ刑事裁判ニ依リ免官セラレ若ハ失職ニ該當シタル者ハ前二項ノ限ニ在ラス

本條ノ退職給與金ヲ受ケタル者市町村立小學校正教員ニ再任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ再任ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第九條中「市町村長ノ證明ニ依リ」ヲ削ル

第十二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ扶助金ハ退職給與金ノ額ト同額トス

附則

本法施行前退隱料ヲ受ケタル者ニシテ本法施行後再市町村立小學校教員ト爲リ在職三年以上ニ至ラスシテ退職シタル者ニハ仍從前ノ規定ヲ適用ス

〔文部大臣(牧野伸顯君) 唯今朗讀ニナリマシタ法案ニ付イテ一應説明ヲ申上ゲマス、此法案改正ノ要點ハ第四條ニ在ルデアリマス、小學校教員ハ退隱ノ場合ニ於キマシテ、退隱料ヲ受ケルニ當テ其勤續退隱料ヲ受ケル年限ニ達シテ、尙勤續スル上ニ於テハ退隱料ノ率ヲ增加スルト云フデアリマス、現在ノ法ニ依リマスト他ノ一般官吏ト同額デアリマシテ、十五年ニ達シテ始メテ退隱料ノ恩典ニ浴スル譯デアリマス、又十五年以後尙勤續シテ受ケルトコロノ増加ノ率ハ、同シク一般官吏ト同様デアリマシマス、然ルニ申スマデモナク、今日ノ小學校教員ノ給料ト云フモノハ、誠ニ些少ノ額デアリマシテ、其點ニ付イテハ荒川君ノ唯今御演說ヲ伺フマデモナク、當局者ニ於テハ非常ニ心痛數シテ居ル次第デアリマス、故ニ此小學校教員ノ給料ヲ増加致シテ、十分ノ額ニ達セズキモ、今日ノ有様ニ對シテ幾分ノ改良ヲ圖リタイト云フコトハ、晝夜心配致シテ居ルデアリマス、是ハ當局ノ希望ニ於テハ遠カラヌ中何トカ相當ノ解決ヲ致シタイ考デアリマス、ソレハ別問題ト致シテ、給料が少額ナルタメニ、從テ此退隱料モヤハリ額ノ少ナイト云フコトハ、是ハ當然ノ結果デアリマス、故ニ此際退隱料ノ年限ニ達シタル後、尙勤務スルモノニ對シテハ、相當ノ増率ヲ致シテ、其退隱料ノ額ヲ上ホセルト云フコトヲ、此法案ヲ以テ圖リタイ積リテアルデアリマス、今日ノ小學校教員ノ有様ヲ見マスト、待遇ノ薄弱ナルコトハ一般ノ認ムルトコロデアリマスガ、實際ニ於キマシテ小學校教員ノ段々退職スルモノが少ナカラヌデアリマス、故ニ師範學校ヲ卒業シ、又檢定試驗等ニ及第シテ、職ニ就キ致シテ居ル中、段々一方ニ於テハ退職スルモノが少ナカラヌデアリマス、畢竟是ハ教員待遇ノ途其當得テ居ナイデアルト考ヘマス、今日此法案ノ改正ヲ以テマシテ、幾分か其ノ境遇ヲ改良セルコトヲ企テデアリマス、議會切迫ノ今日ニ於テ多ク法案モアルコトデアリマスガ、成ルベク速ニ御協贊ヲ得タイと思ヒマス

○議長(杉田定一君) 別段ニ御質疑モナイヤウデアリマスカラ、次ノ日程ニ移リマス、日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名ヲ願ヒマス、但會期切迫、殊ニ此案ハ緊急ノ問題デアリマス、故ニ速ニ議長ヨリ其委員ヲ指名セラレテ、サウシテ委員長理事ナドヲ互選シテ、議事ノ進行ヲラシメテ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通り、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、然レバ議長ニ於テ直チニ委員ヲ指名シマス

根本 正君 大野 久次君 中林 有信君
 柚木 慶二君 星野 仙藏君 榎本 次郎右衛門君
 荒川 五郎君 久保 伊一郎君 藤崎 朋之君

唯今指名ニナリシタルトコロノ委員諸君ハ、直チニ第一委員室ニ集會セラレテ委員長理事ヲ互選シ、引續キ議事ニ著手セラレンコトヲ希望致シマス——日程第三、第四ハ同一ノ委員ニ付託サレタルノデアリマスカラ、併セテ委員長ニ報告サセマス

第三 臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法 第一讀會ノ續(委員長報告)

(宮崎榮治君登壇)

○宮崎榮治君 諸君私ハ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ケマス、此法律案ニ付キマシテハ數回委員會ヲ開キマシテ、關係アル政府委員ノ出席ヲ求メ、慎重ニ審査ヲ致シマシタルデアリマスカ、臺灣ニハ特別ノ事情ガゴザイマシテ、特別ノ稅率ヲ設ケルト云フコトニ付キマシテハ、全會一致反對ハナカッタノデアリマスカ、唯其中別表中ノ生綿及線綿ト云フモノニ付キマシテ從價稅一割トゴザイマスカ、此綿ハ内地ニ於キマシテハ無稅デアリマスカラシテ、臺灣ニ於テ輸入シマスルモノニ一割ノ稅率ヲ定メマスカレバ、却テ内地ヨリ無稅ノ品ヲ送りマスカラシテ、却テ課稅ノ目的ヲ達スルコトガ如何デアラウカト云フ點ヨリ致シマシテ、此一割ノ稅率ヲ五分ト修正スルコトニ相成リマシタ、從テ屑綿及古綿ト云フモノモ從價一割ト云フノガ、最モ同一ノ權衡ヲ取ルメニハ五分ト修正ニナリマシタ、又從價一割ト云フ欄ノ初メニ單位トゴザイマスカ、此別表中ニハ別ニ品名ヲ掲ゲテゴザイマセマスカラ、單位ト云フ文字ハ、全ク無意味ニナリマシテ、茲ニ掲ゲル必要ガゴザイマセマスカラ、之ヲ削除スルコトニ相成リマシタ、此修正ニ付キマシテハ政府委員ニ於キマシテモ同意ヲ表サレタルノデアリマスカ、是ガ臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案ノ經過及結果デアリマスカ、關稅定率法輸入稅表中改正法律案ハ森本駿君外四名ヨリ提出セラレタドコロノモノデアリマシテ、此法律案ハ白米ト玄米及粉ヲ區別致シテ、課稅シヤウト云フトコロノ案デアリマシタ、此區別ヲナシテ課稅スルト云フトコトニ付キマシテハ、委員會ニ於テハ一人モ反對ノ意見ヲ持タトコロノ方ハナカッタノデアリマスカ、併ナガラ此程度如何ト云フトコトニ付キマシテハ、民業上若クハ經濟上ニ非常ナル影響ヲ及ボスノ憂ガゴザイマスカラシテ、遂ニ大藏大臣、農商務大臣ノ出席ヲ求メマシテ、政府ノ意見ヲモ確カメマシテゴザイマスカ、政府ニ於キマシテモ、課稅ノ主義上ヨリ致シマシテモ、又民業ノ保護上ヨリ致シマシテモ、此區別ヲナスト云フトコトニ付イテハ、不同意ハナカッタノデアリマスカ、併ナガラ適當ノ程度ヲ定ムルト云フトコトガ、少シク答ヘラル、コトガ出來ナカッタノデアリマスカラシテ、委員會ニ於キマシテハ、篤ト政府ニ於テ調査セラレテ、次期ノ議會ニ政府ヨリ發案セラレンコトヲ希望致シタルノデアリマスカ、政府ニ於キマシテハ精々調査ハ爲スガ、果シテ次期ノ議會ニ提案致スト云フトコロノ確答ヲ爲スコトハ出來ナイケレドモ、調査ガ出來タラバ發案スルコトモアラウト云フトコロノ返事デアリマシタ、就キマシテハ委員會ニ於キマシテハ、案其物ニ付キマシテノ反對ノ意思ハゴザイマセマケレドモ、議院ニ於キマシテハ、此問題ハ篤ト研究シナケレバナラヌト云フトコトデ、此度ハ全會一致善意ヲ以テ否決ニ相成リマシタルデアリマスカ、此段御報告ヲ致シマス

○議長(杉田定一君) 日程第三、臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案、第一

讀會ノ續ノ議題ト致シマス——別段御議論モナイヤウデアリマスカラ採決シマス、本案ニ讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセマスカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、直チニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハアリマセマスカ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通リ御異議ハアリマセマスカ

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案 確定議

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ、日程第四、關稅定率法輸入稅表中改正法律案、第一讀會ノ續

第四 關稅定率法輸入稅表中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

(森本駿君登壇)

(「簡單」ト呼ビ、無用ト呼フ者アリ)

○森本駿君 私モ本案ニ付イテハ提出者ノ一人デアリマスカレドモ、今ノ委員長報告ニ委員會ニ於テハ同意シタ一人デアリマスカ、然ルニ一言政府ニ希望ヲ述ベテ置カケレバナラヌト云フノハ、政府ガ此原案ノ如キ方針ヲ以テ調査ヲシテ、調査ノ出來次第自ラ提案スルト云フトコトデアリカラシテ、此度ハ善意ノ否決ヲスルト云フトコトニ委員會デアリマシタ、ソレニハ私モ同意ヲ致シテ滿場一致デスノ如クナッタノデアリマスカ、此事ハ十分行ハレ得ベキトコロノデアリマシテ、一例ヲ以テ見マスカラシテ、小麥粉ハ内地ニ於テ製造セラレト、小麥粉ト稅率ノ差額ガ餘リ多クナカッタ時代ニハ、小麥粉ハ内地ニ於テ製造セラレト云フトコトガ餘程困難デアッタデアリマスカ、然ルニ現行法ニ於テハ是ハ大變ナル差別ヲ付ケテ、小麥ハ五十七錢ノ率デアリ、小麥粉ハ一圓四十五錢ト云フ率ニナシマシテ、其差額ガ八十八錢ノ差額ニナツテ居ルノデアリマスカ、其結果トシテ以テ内地ニ於テ製粉事業ガ陸續起ルト云フトコトニナツタノデアリマスカラシテ、此差額ヲ付ケルト云フトコトハ適當ナコト、思ヒマスカラシテ、斯ノ如キコトニ能ク參酌シテ政府ハ調査ヲ進行セラレンコトヲ希望致シマシテ、此委員長報告ニ贊成ヲ致シマス者デアリマスカ

(「採決」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスカラ採決ヲ致シマス、本案ハ委員會ニ於テハ否決ニナツテ居ルノデアリマスカ、因テ原案ニ付イテ採決ヲ致シマス、本案ニ讀會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマスカ、本案ハ否決トナリマシタ、日程第五、明治三十四年法律第二十七號中改正法律案、第一讀會ノ續委員長植場平君報告

第五 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案(植場平君外七名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(植場平君登壇)

○植場平君 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案ノ特別委員會ノ經過

及結果ヲ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテハ政府委員ノ出席ヲ請ヒマシテ、政府委員ト委員會間ニ屢、折衝ヲ重ネマシテ結果、滿場一致ヲ可決ヲ致シマシタノデゴザイマス、ソレテ其會ノ模様ヲ一言致シテ置キマスルガ、政府ニ於キマシテモ此案ニ贊成ヲ表スルト云フコトハ、斷然申シテ譯デハナイ、併ナカラサウナツテモ宜シカラウ、敢テ反對ハ致シマセズ、斯様ニ申シテデアリマス、尙其意味ヲ解釋致シマスレバ、サウ云フヤウニナツテナラバ、總テ都合ガ好カラウト申ス意味ノ答辯デアリマシタカラ、之ヲ御參考ニ申上ゲマス、ドウゾ委員會決議ノ通り、滿場一致ヲ御贊成アラント希望致シマス

○議長(杉田定一君) 別段御議論ハナイヤウデアリマスルデ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、是モ讀會ヲ略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案 確定議

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ラシマシタ、日程第六、第七ハ同一ノ委員ニ付託セラレテデアリマスルデ、併セテ委員長ヲシテ報告セシメマス、委員長根本正君

第六 鹽專賣法廢止法律案(早速整爾外 第一讀會ノ續(委員長 根本正君登壇))

○根本正君 鹽專賣法廢止法律案及鹽專賣法廢止ニ關スル建議案ノ二案ハ一括シテ委員ニ付託サレマシタ、其經過ノ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ都合ニ三回開キマシテ、本案ニ付キマシテ、十分ノ審査討論ノ上法律案ノ方ハ否決シマシタ、建議案ノ方ハ修正ノ上大多數ヲ以テ可決ニナリマシタ、此二案ニ付イテ御報告ヲ致シマスルガ、第一此法律案ノ方ニ付キマシテ報告ラシマスルガ、其法案ニ付イテ反對ラストコロノ理由ノ重モナル件ト云フモノハ、本案贊成者ノ言フ通り鹽ノ價ト云フモノガ官營前ニ較ベテ二倍ノ高サデアルト云フケレドモ、ソレハサウ云フ譯デハナイ、又輸入シテ一般人民ノ便ヲ助ケルト云フヤウナ趣意デアアルガ、此ノ如ク三倍高イト云フコトハナイ、ドウ云フ譯デアアルカト云フナラバ、鹽ハ三錢五厘ノモノヲ五錢一厘デアアルガ當リ前ノ規則ニナツテ居ル、故ニ政府カラ買ッテ賣ル時分ニハ二割位ノ利益ガアルコト、ナツテ居ル、併ナカラ之ヲ九錢或ハソレヨリ以上ニ賣ルト云フモノハ、此專賣法ガ惡シキ譯デナクシテ、小賣人ノ所謂惡利イコトデアアル、故ニ政府デ此法案ノ十分取締ラストコトヲスルナラバ、決シテ此鹽ノ專賣ト云フモノハ、惡利イコトデアハナイト云フコトデアリマス、此案ニ付イテ反對者ハ申サレマシタ譯デアリマス、故ニ專賣法ヲ取締サレバ、即チ相當ノ直段デアアルコトガ出來、今日ノ高イト云フモノハ、即チ小賣人ガ高利ヲ貪デ居ルコトデアリマス、又此案ニ付イテ維持スルトコロノ所謂贊成スル者ガアリマスガ、本案ノ反對ノ理由ト云フモノハ、戰時ノ節、即チ軍デモアツタナラバ今日輸入ノ鹽、即チ外カラ來ルトコロノ鹽ガ無クナツテシマウ、所謂輸入

スルコトガ出來ナクナル、デアアルカラ此法案ト云フモノハ内地ノ鹽ヲ助ケルタメニ是非必要デアルト云フヤウナコトモ申サレマシタ、其意味モアリマシタ、又第三ニハ鹽ノ今日直段ノ高イト云フモノハ鹽バカリ高イ譯デハナイ、外ノ物價總テ高イカラシテ鹽モ自ラ高クナツテ居ルノデアアルガ故ニ、決シテ高イト云フ故ニ、此專賣法ヲ止メルト云フ譯ハナイ管デアアル、ト云フコトモ申サレマシタ、鹽專賣ノタメニ鹽ノ品質ト云フモノガ良クナツテ、從前ノ物ハ所謂鹽ノ極良イ部分ヲ分析シテ見ルト、六十「プロセント」デアアル物ガ、今日鹽專賣ニナリマシテカラ七十「プロセント」乃至九十「プロセント」位ニ精製サシデアアルラシテ、即チ鹽ノ改良ニナツテ、衛生ノタメニナルカラシテ、鹽專賣ト云フモノハ是迄ノ通り置クノガ必要デアルト云フ論デアリマス、第四ニハ是ハ生活上必要品デアアルカラ課稅シテハナラヌ、又即チ惡稅デアルト云フヤウナコトモアルガ、是ハ單リ鹽バカリデハナイ、醬油ノ如キモアルシ、織物稅ノ如キモアリテ、ウレデ惡稅々々ト云フナラバ外ノ必要品モ止メナケレバナラヌカラシテ、鹽カラ取ルノハ何モ差支ハナイコトデアアルト云フヤウナコトモ、此維持論者ノ方カラ申サレマシタ、第五ニハ此鹽ノ官營ヲ廢スルナラバ、一箇年ニ千二百萬圓ノ稅ト云フモノガ減ズル、故ニ其稅ノタメニ之ヲ廢スルナラバ大イニ收入ニ困ル譯ニナルカラシテ、其點カラ見テモ廢スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトモ申サレマス、然ルニ此本案贊成即チ鹽專賣ヲ廢スルガ宜シイト云フコトコロノ論旨ノ要點ハ、第一ニハ實ニ此鹽ニ稅ヲ課スルト云フコトハ宜クナイコトデアアル、是ハ論ヨリ證據、即チ日本全國ノ到ル所ノ商業會議所デ以テ鹽ニ稅ヲ掛ケルノハ宜クナイト云フコトヲ決議シテ居ル、之ヲ見テモ即チ日本ノ輿論ハ鹽ニ稅ヲ懸ケルト云フコトハ宜クナイト云フコトガ一目瞭然ニナツテ居ル、故ニ此鹽專賣ト云フモノハ廢スルガ宜シイト云フ議論ガアリマシタ、又其他種々是ニ付イテヤハリ此採決スルコトキノ議論ヨリモデス、此事ニ付イテノ審議討論スル迄デナクとも、此事ニ付イテ是非善惡ヲ答辯或ハ質問ニナリマシタ質問會デアリマス、之ヲ要スルニ此鹽專賣ト云フモノハ野蠻ノ稅デアツテ、決シテ此文明的デナイト云フヤウナコトガ、此質問會ニアリマシタ却テ質問會ノ時分ガ明瞭ナル卓説ガ出タヤウデアリマスガ、其事ハ此處別ニ御話申シマセヌカ、是ハ諸君ガ速記録ヲ御承知デアラウト信ジマス、斯ノ如キノ結果又此法案ヲシテ鹽專賣ヲ是ナリト云フ方ノ側ニ反對シタ中ニ、決シテ外患即チ戰時ノ時分ニモ決シテ鹽ヲ外カラ入レルコトガ塞ガルト云フヤウナ心配ハナイ、今日日本帝國ハ實ニ立派ナ國デアツテ、サウ云フ杞憂ヲ懷クニハ及バヌト云フ駁論ガアリマシテ、此案ヲ可決スルガ宜シイト云フ論モアリマシタ、遂ニ採決ノ結果、此法案ノ方ハ否決ニナリマシタ、次ニ鹽專賣法廢止ニ關スル建議案ノ方デアリマスガ、是ハ殆ド滿場一致即チ委員會唯一人ヲ除クノ外ハ、是ヲ贊成ラシテ可決ニナリマシタカラ、其大略ヲ申上ゲマス、此贊成ノ理由ト云フコトハ稅務調査ト云フコトモ、ソレノ政府ニ計畫サレテ明治四十一年度ニ於テハ其事ガ提出サレルデアラウト、其結果ト云フモノニナリマシタナラバ、即チ此鹽ノ千三百萬圓ト云フモノヲ廢シテ、サウシテ其他ノ稅目カラ或ハ三ツ、四ツ、五ツ、七ツ位ノ物カラ取ツテモ、此千三百萬圓位ハ取レル、例ヘバ砂糖ヨリシテモ二三千萬圓ハ取レル、何ヲ苦ンデ此鹽ト云フヤウナ細民ヲ苦メル、即チ惡稅ナルモノ、中ヨリ取ルニ及バヌ、即チ砂糖ヲ取リマスルナラバ、決シテ鹽ノ如キ一般人民ノ細民ヲ苦メズ、上流ノ人ノ重モニ用井ルノデアアルカラシテ、此砂糖ノ方カラ取ルノガ宜シイト云フコトコロノモアリマシタ、遂ニ此結果ト云フモノハ即チ唯今申上ゲシタ通り大多數ヲ以テ鹽專賣廢止ニ關スル建議案ノ方ニ於テ可決サレマシタコトデアリマス、一言茲ニ附加ヘテ私ハ置キタイト思フ、私ハ委員長デアツタ故ニ是ニ付イテ意見ヲ申述ヘル折ガアリマセヌカ、實ニ此鹽專賣ト云フモノハ、既ニ今日ハ國家ノ輿論デアアル、ウレデ鹽ニ稅ヲ掛ケルト云フコトハ惡利イト思フ者デアリマス

第一讀會ノ續

鹽專賣法廢止法律案

第一讀會ノ續

鹽專賣法廢止法律案

第一讀會ノ續

鹽專賣法廢止法律案

第一讀會ノ續

鹽專賣法廢止法律案

第一讀會ノ續

鹽專賣法廢止法律案

第一讀會ノ續

鹽專賣法廢止法律案

第一讀會ノ續

○橋本久太郎君 委員長が意見ヲ述ベルノデスカ
○根本正君 委員長ノ意見ハ濟ミマシタ、是ヨリ自分ノ意見ヲ一アト一言申シテ置キマス、ソレ故ニ鹽ノ惡稅ヲ去テ、即チ上流社會カラ取ルトコロノ砂糖、即チ此鹽ノ專賣ヲ廢シテ、砂糖ヲ專賣シテコソ、實ニ立派ナモノト私ハ信ジマス、諸君トウカ此鹽ノ專賣ニ關スルトコロノ建議案ハ可決アラント望ミマス

○議長(杉田定一君) 日程第六、鹽專賣法廢止法律案、第一讀會ノ續
○橋本久太郎君 此問題ニ付イテ贊成者ガアリマスレバ私ハ反對シヤウト思フ、ソレガナクシテ私ハ意見ヲ述ベマス

○議長(杉田定一君) 贊成ノ通告ガアリマス

○橋本久太郎君 アレバ其アトデ私ガ意見ヲ述ベマス

○議長(杉田定一君) 贊成ノ通告ガアリマスカラ……

○橋本久太郎君 其アトデ私ハ反對致シマス

○議長(杉田定一君) 反對ノ方ガ先デス

○橋本久太郎君 然ラバ……

○議長(杉田定一君) 橋本久太郎君

(橋本久太郎君登壇)

○橋本久太郎君 諸君、此問題ニ付キマシテハ私ハ反對ノ意見ヲ述ベマス、唯今ノ委員長ノ報告ニハ贊成デゴザイマス、諸君、此鹽專賣法ハ廢スルト云フコトニ付イテ種

種ナル議論ガゴザイマシテ、先ツ第一ニ鹽ヲ專賣ニシタメニ、即チ人生ニ最モ必要ナル生活品ニ對シテ其價ガ三倍ニ騰貴シテ居ルト云フコトハ宜シカラヌコトデアルト云フ、斯

様ナ議論ガゴザイマスルガ、先ヅ此論據カラ打破ラウト思ヒマス、諸君、鹽專賣ヲ實施シテ三倍ニ其價ガ騰貴シタト云フコトハ事實デアリマセヌ、決シテ統計ニ依リ數字ニ依

リ議論デハナイノデゴザイマス、私ノ調査スルトコロニ依リマスルト、元ト鹽專賣法實施前ニ於テ、明治三十五年ニ全國平均ノ鹽價ハ一升ニ付イテ三十五年ニハ三錢デアリ

マシタ、ソレカラ三十二年ガ三錢三厘、三十七年ガ三錢三厘デアリマシテ、此三箇年ヲ平均スルト三錢二厘デアリマス、所ガ鹽ノ專賣法ヲ實施シマシテ以來ドウナテ居ルカ

ト云フト、全國ノ平均ガ三十八年ニ三錢八厘、前申シタハ一月カラ五月マデ、ソレカラ又六月カラ翌年ノ二月マデガ七錢九厘デアリマス、而シテ三十九年ノ四月

カラ四十年ノ二月マデハ全國ノ平均七錢六厘ニナツテ居リマス、然ルニ三錢ノモノガ九錢ニ騰貴シテ居ルヲ以テ、之ニ反對スルト云フコトハ、統計ニ基カズ、數字ニ基イテ

居ルヲ議論デゴザイマス、(此時種々批評スル者アリ) 御聽キナサイ、或ハ廣イ全國ノコトデアルカラ、營業人が暴利ヲ貪ルガタメニ、九錢ニシテ居ル所ガアルカモ知レヌ、

併ナガラ、先ヅ御聽キナサイ、ソレハ此專賣法中ニ制限ガアルコトニナツテ居ルガ、其制限ヲ適當ニ適用シタラバ、此貪利ヲ貪ラヌコトニシタラバ、決シテ不當

ノ價格ニハナリマセヌ、諸君、私ノ精密ニ調査スルトコロニ依リマスルト(高クナツタデアラウカト呼フ者アリ) 此營業者ニ二割ノ金利ト利益ヲ與フルコトニシテ即チ總テノ費

用ヲ二割ノ利益ヲ與フルコト、見テ正當ナル算盤ニ依ラバ五錢一厘二毛ト云フコトニシテ適當デアリマス、然ルトコロヘ向ケテ唯今申上ケル通り現ニ七錢モ八錢モ取ツテ居ルコトハ、是レ即チ營業人が暴利ヲ貪ルノ事實デアリマス、五錢一厘カ二厘デモ利益ハ二割

アリマス、此五錢一厘デハ專賣法實施以前ニ比レバ僅ノ違ヒニ外ナラヌノデゴザイマセウ、諸君方モ靜ニシテ能ク御考ヘナサイ(笑聲起ル) 外總テノ物價ハ近年ドウナツテ居リマスカ外總テノ物價ハ何品ヲ問ハズ皆凡ソ二割上ツテ居リマス、何ゾ鹽ノミ以前ノ通りノ

相場ニ据ヘテ居ラナケレバナラヌト云フコトハ、抑モ外總テノ物價カラ見テ「ロジック」ニ合ハヌ話デアゴザラヌカ(笑聲起ル) 又事實ニ合ハヌ話デアゴザラヌカ、事實ニ於テハ總テノ物價ガ二割高クナツテ居ルナラバ、鹽モ二割上ラヌ譯ハナイ、ソレ以前ノ三錢三厘ノモノガ二割上ラヌト見テモ、相當ニ上ラテ居ラナケレバナラヌ、ソレ僅カ五錢一厘カ二厘ニシタコロデ格別ノ上リテハ決シテナイ、其上ニ鹽ノ相場ガ上ツテ居ルト云フモ

ノ販賣者ガ暴利ヲ貪ルテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ制セント欲スレバ專賣法ノ規則ノ改正ニ依リテ制限ヲ加ヘ、之ヲ適當ニ使用シタラバ決シテ價格ガ高過ギルコトニナツテ居ルコトハナイ、又唯今申上ケルヤウナ理由デアデ、決シテ不當ナモノデアナイノデゴザイ

マシタ、凡ソ一箇年一人ニ付一斗デアリマス、此一斗ニ對シテ專賣法ノタメニ税金ニ當ルトコロノ金額ガ二十二三錢デアル、諸君二十二三錢ヲ一人前ニ負擔サスコトハ、ソ

レナニ苛酷ナ金額デアナイノデゴザイマス、又諸君中ニハ只細民稅々々ト申スケレドモ細民稅バカリデアナイ、即チ大家ニシテ召仕ヲ多ク使用スルモノハヤハリソレダケ多額ノ税金

ヲ拂フテ居ルノデアル、何モ唯全國ノ貧富ヲ平均シテ負擔シテ居ルモノデアナイノデアル、成程個人ニ付イテ拂ヒ居ルカラ一面カラ見レバ、ソレハ今申上ケルダケノモノハ一人ニ付キ悉

ク負擔シテ居ルニ違ヒナイガ、其論カラ往ケバ何モ必ズ鹽ニ限ラヌノデアゴザイマセヌカ、通行稅ハ如何、左様ナモノヲ數ヘタラバ、他ニモ隨分アルノデアゴザイマス、ソレ故ニ決シテ此鹽

ダケガ惡稅デアル、細民稅デアルト云フヤカマシク云フノハ、抑モ私ノ間違ッテ居リハセヌカト思フ、唯今私ガ申上ケヤウトスルトコロノモノハ、若シ此鹽專賣法ヲ廢シテシマツテ、

サウシテ此儘無稅ニスレバ宜シケレドモ、即チ政府ハ今日ノ財政ニ窮シテ居ルトコロカラ、消費稅ニ持ツテ往ケカモ知レヌ、又已ムヲ得ズ持ツテ往ケザルヲ得ヌヤウナルカモ知レ

ヌ、財源ハ全ク涸渇シテ居ル、然ラバ試ニ之ヲ消費稅ニ持ツテ往ケバドウデアルカ、實ニ今日ノ鹽業者ヲ皆倒シテシマフ、諸君、此鹽專賣法ノタメニ、一面ニ於テハ鹽業者ヲ保護

シテ居ルコトニナツテ居ルノヲ御承知デアルカ、又、自然ニ任シテ置ケバ、今日ノ製鹽業者ハ勞銀ガ高クナツテ居ル、原料ガ高クナツテ居ル從テ價格ヲ高クシナケレバナラヌトコロヘ向

ケテ、互ニ競争シテ價ヲ廉クセントスルヤウニナルノデアリマス、然ラバ收支相償ハヌ有様ニナツテ來マス、又勞銀ガ高クナツテ居ル、原料ガ高クナツテ居ルノニ對シテ、高イ價ニ賣リ

マシタラバ外鹽ニ壓倒セラレルノデアル、然ラバ自然ニ任セテ放任シテ置カシカ、折角全國ニ七八千町歩モアル此鹽田ヲ荒蕪シテシマフヨリ仕方がナイノデアリマス、又製鹽業

者ヲ倒シテシマフノデアゴザイマス、然ラバ一面カラ申セバ此專賣法ハ鹽業者ヲ保護シ又折角全國ニアルコロノ鹽田ヲ保護シテ、一面ニハ鹽ノ改良進歩發達ヲ圖ツテ往クノデア

リマス、諸君、鹽專賣法實施以來鹽質ハ明カニ良クナツテ居ルノデアゴザラヌカ、論者ニ於テ或ハ言フ、鹽ガ高クナツタカラ粗惡ナ鹽ヲ賣ルヤウニナツト云フ、諸君粗惡ナ鹽ヲ賣

メルニシタコロガ、鹽化曹達百分ノ七十以上ノ鹽デナイト賣ラレヌノデアゴザラヌカ、以前ハ百分ノ六十以内ノ鹽化曹達ノ鹽ヲ賣メツ、アツノ今度鹽專賣法ノタメニ五等

鹽デモ百分ノ七十以上ノ鹽ニテ「簡單」ト呼フ者アリ) 上等ニナルト百分ノ九十以上ニナツテ居ル、詰リ良イ鹽ヲ賣メサセルヤウニナツタデアリマス、而シテ鹽質モ改良セラレツ、アルノデアリマス、諸君中ニ於テハ鹽ハ自然ノ優勝劣敗ニ任セタラ宜イト云フガ、私

モ全體ニ於テハ其主義ハ宜シトハ思ヒマスルカ、多クノ者ハサウ云フ考ヲ持ツテ居ル、併ナガラ幸ヒ全國ニ八千町歩カラ鹽田ガアツテ、而シテ隨分唯今申上ケル適當ノ保護ヲシタラバ、鹽業者ガ立行クノミナラス、七八千町歩モアル鹽田ノ改良モ出來ルノデアル、然ルニ若シ之ヲ拋棄シテシマツテ自然ニ任セタラバ、外鹽ニ壓倒セラレ、即チ日本ノ領土

トハナッテ居ルガ、臺灣清洲カラ鹽ヲ取ルコトニナッテシマッタナラバ...

ノ熱心ナル議論ニ御賛成アラシコトヲ希望致シマス(笑聲起リ、拍手スル者アリ)

○議長(杉田定一君) 島田三郎君

○島田三郎君 諸君、本員ハ橋本君ノ御説ヲ讀シテ承リマシタガ、餘リ駭スル程ノ價

値ハナイト思ウテ居リマス、併ナガラ本員ハ本案提出者ノ一人デゴザイマスルカラ、其趣

意ノアルトコロヲ申シマス、御氣ノ毒デアリマスルガ、橋本君ノ説ヲ批評スルノ義務ガ

アルト思フ、橋本君ハ斯ウ云フ箇條ヲ擧ゲラレテ、餘リ高クナイト云フコト、ソレカラ鹽ガ

絶滅シテ他日外國ノ艦隊ガ日本ノ近海ニ出沒シタトキニ困ラアラウ、斯ウ云フコトデ

アツタ、ソレカラ他ノ物價ガ高イカラ鹽モ高イノデアル、サウ云フコトデゴザイマシテ、是ハ委

員會ノ中デモ承認スルコトデゴザイマスルガ、其委員會デハモウチトマテ附加ヘテ、惡税モ他ニ

アルカラ、ソレダケ一ノ惡税ニ氣ヲ懸ルニハ及バヌト云フ、不理論ノ反對モアリマシタ、委員會

ノ承認スルコト、委員會ノ經過ハ委員長ノ報告ノ足ラザルトコロヲ補ツテ、少シ事情ヲ申

上ゲヤウト思フ、十八名ノ委員會ノ中テ政府黨ト認メラレル政友會ノ御方ノ多數モ、ソ

レカラ大同派ノ多數モ進歩黨ノ御方ノ多數モ、皆大體ノ上ニ付イテ、是ガ惡利イト云

フコトノ點ニ於テハ一致シタデゴザイマス、ソレ故ニ大多數ヲ得タデゴザイマスガ、此

中ニ二人反對ガアツタ、其反對説ヲ承ツタノハ、一人ハ久保君アツテ一人ハ唯今ノ橋

本君デアリマス、是ハ香川縣、徳島縣ノ御方デアリマスルガ、反對ハ御尤ダト本員ハ

其意ヲ諒シテ承ツテ居リマスガ、是ハ十州鹽田會ノ總會ノ席テ承ルベキ議論デ、帝國

議會ノ五千人ノ利害ヲ議スル所デハ、餘リ反對ガ欲過ギタト本員ハ思ウテ居リマス、

ソレ故ニ初ニ於テ大同派ノ最モ親シカッタトコロノ前政府ガ此專賣業ヲ企テ、今日政

府ヲ助ケテ御出デノ政友會ガ、ヤハリ是ハ廢シナケレバナラヌト云フコトコロマデ歸著シテ居

ルノデ、實ハ全國ノ輿論ノ歸著ガ定テ居ルノニ、十州鹽田會ノ總代ノ御方ノ説ヲ聽ク

ニハ足ラヌト思ウテ居ル、併ナガラ既ニ帝國議會ノ壇ニ立ッテ御論シナッタ以上ハ、

本員ハ己ムヲ得ズ自説ヲ維持スルタメニ、御氣ノ毒ナガラ批評シナケレバナラヌ、(横濱

ノ鹽問屋ニ類マレタラウ)ト呼フ者アリ)第一小賣ガ二倍ニナッテ居ルト云フコトハ、

統計上ノ嘘ダト云フコト、ソレカラ統計表ノ中ノ一部ヲ抜イテ、サウシテ七錢ニ匣トナル

ノデアルガ、五錢ニ匣トニ割マデ儲カルト云フ、多分是ハ鹽田業者ノ調査デアリマスガ、

或ハ政府當局者ノ調査デナケレバ、斯ノ如ク殘ラズノモノガ出ル譯ガナイ、本員ノ手許

ニモヤハリ有志家ノ意見トシテ斯様ナル調査表ガ參ッテ居リマス、是ハ初メテ橋本君カラ

承ツタノデナイ、宛ニ角政府委員モ此高イト云フコトヲ認メラレル證據ガアリマス、又橋

本君モヤハリ高イト云フコトヲ認メテ居ラレル、ソレハ高イケレドモ、是ハ小賣商ガ間接ニ

高ク賣ルノデアツテ、本當ニ賣レバ左様ナトハナイト云フノデアルカラ、イツレノ原因カラ

見マシテモ、小賣ノ高イト云フコトハ委員會ノ御方ハ一致セラレテ居ル、極度マデ原案

ヲ維持セラレル政府委員モ、ヤハリサウ認メテ居リマス、ソレナラバ小賣ノ高イ取締ガ出

來ルヤ否ヤト云フコトハ實地ノ問題デアリマス、凡ソ商業ト云フモノハ、相場ノ上ニ現ハ

レル需用供給カラ來ルノデアリマスルカラ、本ガ是ダケデアルカラ、何時デモ其本ニ二割ヲ

掛ケレバ宜シト云フ一定ノ規則デ、小賣ノ取締ヲスルト云フコトハ、抑、商業ノ何モノ

タルヲ知ラザル、經濟ノ原理ノ何モノタルヲ知ラナイ人ノ議論デアツテ、是等ハ採ルニ足ラ

ヌトコロノ論デアルト思フ、廉ク買ッテ高ク賣ルト云フコトガ商賣デアルカラ、之ヲ制限ス

ルタメニ需用供給ノ自然法ガアツテ、初メテ生産費ノ上ニ幾ラノ儲ガアツテ、賣レルト云

フノデ極マルノデアリマスルノヲ、政府ガ全額ヲ制限シテ、是ダケノ儲ガ出來テ、是ダケ全

國ニ這入ッテ居ルカラ、此小賣ニ幾ラニ當ルト云フコトハ、金利ト云フコトモ、市場ノ形

勢モ知ラナイノデ、此ノ如クシテ商賣ガ出來ルモノナラバ、何人モ商業ニ從事スルコトガ出來ルノデアリマスガ、左様ナルコトヲ全國ノ小賣者ニ強ユルト云フ 根柢ニ誤リガ存シテ居リマスカラ、ヤハリ高イハ高イノデアデ、此高イ點ニハ橋本君モ一致サレテ居ル、政府委員モ其高イノハ小賣者ニ取ラレテ居ルト云フコトデアリマスガ、此小賣者ヲ取締ルコトニナレバ、全國ノ供給ノ不便ヲ起スト云フコトヲ御承知アラントラ望ムノデアリマス、ソレ故ニ本員ハ此專賣法ハ嫌ナノデ、ソレ故ニ總テノ人ガ皆使ヒマスルトコロノ物品ニ向ッテ此ノ如ク細密ナルトコロノ制限ヲ加ヘ、此ノ如キ干涉ヲ施シテ初メテ供給ノ途ヲ開カウト云フノハ所謂座敷論デ、王安石ガ宋ノ政ヲ誤ッタト同ジ覆轍デアラウト思ヒマスカラ、本員ハ徹頭徹尾此案ハ當初ヨリ一日モ反對ノ意ヲ緩ウシタコトハナイ、ソレカラ橋本君ノ議論ヲ煎詰メマスルト云フコトニナル、八千町歩ノ鹽田ガアル、八千町歩ノ鹽田ヲ保護シナケレバ氣ノ毒デアル、即チ本員ハ評シテ十州鹽田會ノ總體ノ議論ト云フノハ此意味デ、是ハ八千町歩ノ所有者ヲ除イテ日本全體ノ利害問題デアリマス、何レガ重キカト云フコトニ考ヘナケレバナラヌ、是ガ氣ノ毒デアルガ故ニ、自然ニ供給セラルベキトコロノ鹽ヲ制限スルト云フコトデ、專賣法ノ基礎ガ立ツト云フナラバ橋本君ハ何故ニ是マデノ人力車ガ迷惑ヲスルカラ汽車ヲ擴ゲルコトハ困ルト云フ議論ヲシナイノデアル、併ナガラ斯様ニ言フト鈍キ腦髓ノ論者ニハ徹底シナイイカモ知レヌ、ソレ故ニモット適切ナル例ヲ擧ゲテ申シマスレバ、橋本君ハ敵ノ艦隊ガ近海ニ出沒スルトキ、外鹽ノ供用ガ絶ヘルト云フコトデ、ゴザイマスガ、是コソ實ニ消極的精神病家ノ云フコトデ、本員ハアラウト思ヒマス、ソレ故ニ本員ハ國際ノ平和ヲ望ムニ拘ラズ堅實ナル艦隊ヲ帝國ガ持タナケレバナラヌ、印度洋以東ハ日本ノ領海權トスル位ノ見識ガナケレバ、帝國ヲシテ列國ノ間ニ雄視スルコトハ出來ヌト本員ハ思ヒテ居ル、若シモ橋本君ノ議論ノ如クナレバ臺灣モ還スベシ、遼東モ還スベシト云フハナケレバ、此日本ハ立タナイノデ、帝國ノ故領地ノ中ニ閉籠ッテ居テ、昔時ノ領國ノ主義ニ基カナケレバ、又コトハ足ラヌト思ヒマス、本員ハ北ハ樺太ヲ割キ、更ニ遼東ニ租借地ヲ持ッテ居ル帝國ガ、何故ニ鹽ノ一點ニ此ノ如キ、心細キ感シヨナサカ、カラ疑フノデアリマス、モウ一ツ反問シヤウト思ヒマス、唯今日本ノ多數ノ人ガ用井テ居リマス木綿ハアノ棉花ハ何レニ採リマス、元ハ四國或ハ九州ノ暖地ニ生シタノデアリマスケレドモ、今日ハ日本ノ重モノ輸物トシテデアリマスルトコロノ是ハ紡績ヲ以テ、其第一ニ數フベカラザルモ、第二第三位ニ上セルコトハ出來ル、其棉花ノ原料ハ何レニ採ルカト云フト、十州鹽田會總代者ト同ジヤウナ論旨ヲ持ッテ居ル人ハ此棉花ハ日本ニ生シナケレバ、一旦外國ノ軍艦ガ、日本ノ近海ニ往來シタトキニ日本人ハ凍ヘナケレバナラヌト云ヒマス、實ニ笑フニ堪エタル議論ト思ヒマス、王者道アレバ守四夷ニアリト云フコトハ、支那人ノ言ッタコトデアルガ、特ニ橋本君ニ告グベキコトデアルト思ヒマス、何ゾ一ツ鹽ノコトニ付イテ鎖國主義ヲ執ラレ、トコロノ四十年五十年以前ノ識見ヲ主張セラル、カ、實ニ時勢ニ後レタ議論ト本員ハ思ヒマス、決シテ物モ高イカラ鹽モ騰ツタト云ヒマスガ、鹽ヲ廉ク爲シ得ベキ形勢ハ備テ居ル、本員ハ尙反對論者ハ餘リ言ヒマセケレドモ、一ツノ附加ノ事實ヲ委員會言ヒシタカラ言ヒマスガ、北海道ノ漁業ノタメニ此鹽ノ專賣法ガ害ニナッテ居ル、ソレ故ニ北海道ノ殖産家ハ此鹽ヲ自ラ造ラウトシタ、尙モウ一ツノ便宜ハ此山ヨリ掘出シタトコロノ他ニ餘リ賣リ途ヲナイトコロノ石炭ヲ使ッテ、廉ク鹽ヲ造ルトコロノ新式ノ製鹽業ヲ企テヤウトシテ願出テマラハ、トレ程ノ鹽ヨリ製スルコトハナラヌ、天然ノ利ヲ出スト云フコトヲ制限スルハ專賣ノ上ニ現ハレル害デアデ、外國ノ鹽ヲ制限スルト云フバカリデ、專賣ノ害ヲ本員ハ論

ズルノデアナイ、帝國ノ中ニ新式ノ製鹽業ガ現ハレテ日本國民ニ廉キ鹽ヲ供給セントスルモ、政府ハ此制度ヲ維持スルタメニ天然ニ制限シテ居ルデアリマセヌカ、天然ノ利ヲ發達セシムルト云フノガ農商務ノ趣意デアリマスガ、怪ムベキノ至リト云ハナケレバナラヌ、且又此北海道ニ新ニ企テタトコロノ人ハ、北海道ノ魚ヲ良ク製シテ、之ヲ國外ニ出シタリ、其鹽ヲ得タイト云フ、此ノ如キ考カラ企テタノデアリマスガ、併ナガラ出來得ルナラバ澤山得ヘテ、サウシテ利ハ益、多クナラントラ望ムノデアリマスガ、之ニ付イテ一ツノ制限ヲ政府ガ與ヘタ、一ツハ其高ヲ制限セヨ、一ツハ内地ニ賣ルベカラズ、外國ニ出セ、其他驚クベキトコロノ制限デゴザイマスガ、併ナガラ今日ノ專賣制度ヲ維持スル以上ハ、斯クセザラ得ヌノデアリマスカラ、本員ハ此專賣局ノ人ガ此ノ如ク云フノヲ誠ニ氣ノ毒ニ思ッテ居ッテ、其意ヲ諒トスルノデアル、根柢言ヒマスレバ帝國議會ハ此ノ如ク矛盾シテ居ル法律ヲ出シタト云フ、政府ガ之ヲ出シテ帝國議會ハ之ヲ匆卒ノ間ニ之ヲ許可シタ決シタト云フコトガ誤デアリマスカラ、本員ハ決シテ專賣局ノ諸氏ニ向ッテ此ノ如キ制限ヲ北海道ノ新製鹽ニ與ヘルト云フコトヲ答メヌノデアリマス、原因ガアルカラ此ノ如キ結果ガ現ハレタト本員ハ申スノデ、之ニ就イテモウ一ツ申シテ見タイ、此ノ如キ影響デアデ、全國ノ人ガドレ程ノ稅ヲ受ケテ居ルカト云フト總體ノ頭ニ非常ナル惡ルイ結果ヲ受ケテ居リマス、本員ハ曾テ印度ノ專賣反對報告ヲ讀ンデ大ニ感シタコトガアリマス、全體鹽ト云フモノハ勞働スル者程多分ヲ取ラナケレバ、衛生上身體ノ健康ヲ維持スルコトガ出來ヌ、然レニ印度ニ於テハ專賣法ガアルガタメニ、價格ガ高クシテ行渡ラヌタメニ皮膚病ガ多イ、一方ニ健康ヲ維持スル途ヲ開イテ、一方ニ衛生上ニ骨ヲ折ルト云フノハ、矛盾デアルト云フ反對ノ報告ヲ讀ンデ感シタ、是ハ印度ハ從來アッタトコロノ法律デアルカラ此ノ如キモノガアデ、有志ノ人ガ奮起シテ廢サントシテ輿論ヲ動シテ居ルノデアリマスガ、何故ゾ日本帝國ガ、議會ヲ開イテ全國ノ總代人が集ッテ、此ノ如キ法律ヲ定マタト云フノハ、印度國民ニ耻ヅルコト、思ッテ居リマス、反對論者ハ氣ノ毒デアルガ、香川縣ノ久保君ト、立ニ德島縣ノ橋本君ノミデアッタト云フコトニナル、又政府ノ反對黨アリ贊成黨タルニ拘ハラズ、此法律ガハ明瞭ニ分ッテ居ルト云フコトヲ本員ハ思フノデアリマスカラ、ソレ故ニ之ニ付イテ斷然廢止スルガ宜イト、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、然レニ茲ニ一ノ稍道理アルヤウニ聞エル反對ガアル、ソレハ委員長モ報告サレタ如ク、一千三百万圓ノ稅源ヲ如何ニセント云フ一ノ反對デアル、之ヲ定メズシテ俄ニ廢止スルト云フコトデアラ、國政ヲ議スル議員トシテ無責任デアルマイカト云フコトデアル、是亦本員ハ願ルニ足ラヌト思ヒマス、本案バ四十一年四月一日ヨリ施行ト書イデアリマス、一年ノ猶豫ヲ與ヘテ居リマス、大藏省ニハ稅法改正調査會ヲ設ケラレテアル、是ハ他ニ鞭撻スベキ者ガナイカラ、空シク今日ニ至ッテ一向報告スベキ報告モ出テ參リマセヌガ、免ニ此此調査會ガアリマス、其故ニ誰ガ見テモ反對ヲ表サナケレバナラヌト確定シタ、輿論ノ決勝點トモ申スベキ鹽ノ專賣法ノ問題ハ、一年ノ猶豫ヲ與ヘテ大藏省ノ決心ヲ促シタノハ、最モ適當ナル處置デアデ、議會ノ監督權ト共ニ道理アルトコロノ立法權ノ使用デアルト本員ハ確信スルノデアル、之ニ付イテモウ一ツ申シテ置キタイノハ、廢止ノ結果一千三百万圓突然無クスルノハ無責任デアルト云ヒマスガ、本員ノ考デハ一億萬圓ノ軍事費カラ成立ツ六億一千万圓ノ豫算ヲ議定シタノハ、事實ノ上ニ於テ如何ナル責任ヲ取ッテ居ラル、カト本員ハ思ヒマス、本員ハ唯今アレダケヲ据置クニハ、少ナクモ一億萬圓ハ何レノ方面カラカ支出シナケレバナラヌ、然ラザレバ政務ヲ大ニ改革ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトハ、事實今日歷然ト現ハレテ居ル、此ノ如ク國家ノ上ニ一大改革ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ、其改革ノ一トシテ鹽專賣法廢止ヲ一年ノ後ニ期スルト云フコトハ、最

モ改革ノ精神ヲ含マセタル道理アル本案アルト思ヒマス、本員ハ此ノ如ク思ウテ居ル故ニ、如何ナル反對ガアルニモ拘ラズ、原案ハ維持スルノデアリマス、此原案ヲ維持スルニ付イテハ議會ニ訴ヘ、併セテ議會ヲ通シテ國民ニ訴ヘナケレバナラス、本員ハ政友會ノ諸君ニ對シ、大同派ノ諸君ニ對シテ、此改正案ニ贊成セラル、誠意ガアルカ否ヤヲ疑フノデアル、何故疑フカト申シマスレバ、立法權ノ適當ナル使用ヲ用非ズシテ、サウシテ建議案ニセラレタト云フノハ、何タル不道理、何タル不體裁アルカト云フコトヲ明白ニ確言シナケレバナラスト本員ハ信ズル、本員ハ建議案ト云フコトハ餘リ好マヌノデアリマス、當院設立以來日淺クアリマスケレドモ、帝國議會ハ成ルベク憲法法律ニ容許サレタ範圍内ニ於テ、帝國議會ノ權ヲ十分ニ活用シタト云フノハ、憲法ニ對スル本員ガ一片ノ忠實デアリマス、此立法權ヲ以テ議スベキモノヲ、何故ニ建議案ニナサレシメタノカ、建議案ハ立法權ノ至ラザルトコロ、即チ郡役所廢止案ノ如キ行政命令ニ依リテ左右セラレ、直接帝國議會ノ力ヲ動かカスコト能ハザルモノハ、餘議ナク此建議案トスルノデアル、然ルニ此鹽專賣法制定ノトキニハ本院自カラ決議シナガラ、之ヲ廢スルニ當リテ建議案ヲ用非、立法權ヲ使用シタト云フノハ、政府ヲ憚リテナサザルノデアルカ、詰リ分析シテ見レバ、立法權トスレバ政友會ノ諸君モ同意シナイ、大同派ノ諸君モ同意シナイ、唯進歩黨ノ御付合ヲシタト云フコトアルノハ明カナル事實デアリマス、御付合ヲシテ立法權ヲ編メルヨリ、寧ロ本員ハ正々堂々立法權ヲ使用シテ、一面其貫徹ヲ期スルト云フコトハ、殊ニ座席ヲ議會ニ占メテ居ル議員ノナスベキトコロデアル、此案ハ政府ノ不同意トスルトコロデアル、不同意ノトコロヘ持ッテ往テ、建議案ヲ以テスルト云フコトハ、哀訴嘆願ニ等シキ醜態アルト思フ(ノウ)若シ醜態デナイト云フナラバ、本員ニ確答ヲ與ヘラレシコトヲ望ム、本員ハ此議會ノ内ニ於テ五人デモ六人デモ此精神ヲ維持スル、忠實ナル帝國議會ノ議員アラントラ望ムガタメ、極度マデ原案ヲ維持シテ其起立ヲ試ミヤウト思ヒマス

○議長(杉田定一君) 久保彦太郎君

(討論終結)ト呼フ者多シ

(久保彦太郎君登壇)

○久保彦太郎君 私ハ此鹽專賣廢止法案ニ反對ヲ致シマスル一人デアリマス、即チ鹽專賣法ヲ以テ惡稅ト認メナイ良好ナ財源デアルト信ズル者デアリマス、聊カ此主張ヲ諸君ニ述ベタイト思ヒマス、所ガ生憎テ非常ニ風邪ノタメニ咽喉ヲ害シテ居リマシテ、ドウカ御聽苦シイカハ存ジマセヌガ、暫時御清聽ヲ願ヒマス、私ハ先刻島田君ガ御紹介ナサタ如ク、鹽業ニ關係ノアル人間デアリマス(ツレチヤ止メ給ヘト呼フ者アリ)鹽業ニ經験ヲ有シテ居ル者デアリマス、故ニ常ニ鹽專賣法ニ對スル反對論ヲ能ク注意シテ承ッテ居リマス所ガ幸ヒカ不幸デアルカ、未ダドウモ是ナラ贊成ヲ致シテ見ヤウト、自分ノ所論ヲ拾ア、是ナラ贊成ヲ致シテ見ヤウト云フ議論ヲ承ラヌノデアリマス、先刻島田君ノ御説モ段々承リマシタガ、要スルニ此鹽ヲ捉ヘテ、サウシテ鹽專賣法ヲ非難スルト云フニ過ギナイノデアリマス、サウシテ諸君ハ常ニ日々鹽ヲ使用シ、アルニモ拘ラズ、鹽ト云フコトニ付イテハ更ニ知ラナイノデアル、鹽專賣法後、鹽ト云フモノガドウ云フ風ニ供給サレドウ云フ風ニ需用サレテ居ルト云フ事實ヲ、チットモ知ラヌノデアル、故ニ私ハ簡單ニ決シテ惡稅デナイト云フ趣意ヲ、諸君ニ御分リニナルヤ御話シタイト思フ、ソコテ私ガ反對論ノアルトコロヲ注意シテ聽イテ居リマス、詮ズルトコロ鹽專賣法ニ對スル正面的ノ反對ハ二ツアルニ過ギナイノデアル、其一點ハ何デアアルカト申シマス、一ハ鹽ト云フモノガ人間ノ生活ノ必需品デアル、之ニ課稅スルト云フコトハ、人頭稅ノ性質ヲ帶ビルモノデア

ル、故ニ惡稅デアルト云フノガ一ノ論據ソレカラ第二ノ論據、鹽專賣法後、大ニ鹽價ガ騰貴シタ、鹽價ガ騰貴ノタメ、多數ノ細民ハ是ガ負擔ニ苦シム、此二點ノ外ニ過ギナイ、其他ニイロク、苦情ヲ主張スル者ガアリマスケレドモ、是ハ枝葉ノ議論デアツテ、茲ニ私ガ辯解スルノ必要ハナイト思ヒマス、此二點ニ付イテ私ハ、主張スルトコロヲ述ベタイト存ジマス、諸君、何故ニ人間ノ生活ノ必需品ニ課稅スルト云フコトガ惡利デアリマセウ、生活必需品ニ課稅スルト云フコトガ惡利ト云フコトハ、一向道理アルトコロヲ解シナイ、何セ生活必需品ニ課稅スルト云フコトガ惡利ト云フコトハ、昔ハ斯ウ云フ學說ガアツカ存ジマセヌケレドモ、今日ノ財政上ニハ此ノ如キ議論ハ認メナイノデアリマス、併ナガラ假リニ生活必需品ニ課稅スルト云フコトガ惡利ト云フコトハ、獨リ鹽稅ノミナラズ、人間ノ生活必需品ニ課稅シテ居ルモノハ其他ニ澤山アリマス、醬油稅ノ如キモ即チ是デアリマス、又織物消費稅ノ如キモ即チ是デアル、又地租ノ如キモ多クノ部分ハ即チ米穀ニ向ッテ間接ニ賦課シテ居ルトコロノ租稅デアリマス、故ニデス、人間ノ生活必需品ニ課稅スルト云フコトガ惡利ト云フコトハ、議論ガ立ッタナラバ、地租ヲモ廢シナケレバナラス、多クノ部分ノ地租ヲモ廢シナケレバナラス、又醬油稅モ廢シナケレバナラス、織物消費稅モ廢シナケレバナラス、或ハ人間ハ病氣ノ器械デアルト云フ上カラ申シタナラバ、藥モ人間ノ生活ニ必要ナル品デア、賣藥稅モ廢シナケレバナラス、斯ク論ジテ參リマシタナラバ、人間ノ生活ノ必需品ニ課稅スルト云フコトガ惡利ト云フ議論デアリマシタナラバ、少ナクモ私ガ唯今申シタ位ノ稅金ハ廢シナケレバナラスト云フコトニナリマス、又サウシナケレバ人間ノ生活必需品ニ課稅スルト云フ論據ガ貫徹シナイデアリマセヌカ、若シモデス、此論據ガ諸君實徹シタト見給ヘ、此論據ガ貫徹シタナラバ、國家ノ歲入少ナクモ一億方圓ニ近イト云フ金ハメチャクニナツテシマウ(分リマシタ)ト呼フ者アリ)又其外最モ人間ノ生活トシテ必需缺クベカラザルトコロノ米デアル、此米ニ向ッテ一圓六十錢ト云フ關稅ヲ掛ケテ居ルタメニ、内地ノ米價ニ二圓以上ノ相場ニ影響ヲ及ボシテ居ルト云フコトハ、是ハ普通人ノ主張シテ居ルトコロデアル、是等モ即チ鹽專賣ガ惡利ト云フナラ廢シナケレバナラス、サウスルト此人間ノ生活必需品ニ課稅スルノ惡利ト云フ論據ヲ通サウト致シマシタナラバ、我國ノ財政ト云フモノハメチャクニシナイトシタナラバ、或ル生活ノ必需品ハ廢シテ、或ル生活ノ必需品ハ礎ガメチャクニシナイトシタナラバ、或ル生活ノ必需品ハ廢シテ、或ル生活ノ必需品ハ礎ガメチャクニシナイト云フ、斯ウ云フ反對ノ論據ノ矛盾ト云フモノヲ免レナイト云フ結果ニナルデアリマス、即チ是ニ依リマシテ人間ノ生活必需品ニ課稅スルト云フコトハ、イケナイト云フ論據ノ立タナイト云フコトヲ證明ガ私ハ出來タカト存ズル、次ニ鹽專賣執行ノタメニ鹽價ガ二倍ニモ増加シタ、ツレガタメ多數細民ハ大イニ負擔ニ苦シ、怨嗟ノ聲ガ四方ニ起ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ唱ヘル人ガアル、是ハ橋本君ガ事實ニ於テサウナツテ居ラヌト云フ證明ヲ擧ゲマシタカラ私ハ精シク申シマセヌガ、決シテサウ云フ事實ガナイト云フダケノコトハ順序トシテ述ベテ置キマセウ、即チ鹽專賣法執行前後ノ鹽價ノ比較ヲ取ッテ見マスト云フコト、三十八年ノ五月以前、即チ鹽專賣執行前ニ於キマシテハ、東京デハ四錢五厘デアル、又其執行後三十八年六月以後ニ於テハ八錢三厘、又全國ノ平均ヲ申シマスト專賣執行ノ前ガ三錢八厘、專賣執行後ガ七錢九厘トナツテ居ル、三倍ニ増加ラシタト云フコトハ、誇大ノ事實ヲ以テ專賣法ノ非ナルコトヲ主張シヤウト云フ論者デアアル、此二倍ニモ足ラナイ相場ノ増加ト申スノモ、獨リ鹽專賣法ニ依リテ居ルト云フ譯デアリマセヌ、茲ニ鹽價ノ大キニ騰貴シナケレバナラスト云フ原因ガアツタノデアリマス、ソレハ諸君ガ知ラナイ事實デアリマスカラシテ、私ハ諸君ニ述ベタイト存ジマス、何ゼ増加

○南條吉左衛門君 此議案ニ付イテ一言致シヌ(採決々々ト呼フ者アリ)是ニ對シテ先刻以來島田君及橋本君、唯今ノ早速君ナドハ甚ダ御反對アリマスガ、決シテ幽靈デナク何デモナイ、吾々ハ其目的ヲ貫クニ良イモノヲ以テスルノヲ、徒ラニ諸君ノ如ク唯ダ議論ニ依テ其目的ヲ貫クト云フノデナイ、今ヤ豫テモ言フ、通リ政府ハ稅制調査ヲ致シテ居ルトキデア、此時ニ當テ此事ヲ政府ニ爲サシムルニ極ク便利デア、政府ヲ敵ト見ルニハ及バヌ、政府ト相共ニ國家ヲ料理スルガ宜シイデア

(討論終結)ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、委員長報告ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 大多數——委員長報告ノ通リ決シマス——日程第八、本院ノ體面ニ關スル調査ノ件ヲ議題ト致シマス、委員長南條吉左衛門君報告

第八 本院ノ體面ニ關シ調査ノ件 (委員長報告)

(南條吉左衛門君登壇)

○南條吉左衛門君 諸君、本件ハ御承知ノ如ク去ル十二月ニ於キマシテ、當院ノ議題トナテ議決致シマシテ、ソレヨリ吾々委員ヲ設ケラレマシテ、爾來委員會ヲ開キマシテ、コト三回ゴザイマス、此間ニ對スル經過及結果ヲ御報告ニ及ヒマス、十一月ニハ委員長理事ノ選舉ニ終リマシテ、十五日ノ會ニ於キマシテ先以テ本件ノ目的ヲ定メ及調査ノ順序ヲ立テ、斯ウ云フコトヲ段々相談ガアリマシテ、其結果トシテ豫テ御配布ニ及シデア、茲ニ報告書ヲ通リ高梨哲四郎君、尾見濱五郎君、栗原宣太郎君、小山田信藏君、關信之介君、武藤金吉君、藻寄鉄五郎君、愛澤寧堅君、此諸君ヘ向テ出席ヲ求メマシテ、辯明ヲ請フト云フコトニ決定ニナリマシテ、因テ小生ヨリ致シテ諸君ヘ向テ御出席ヲ求メマシテ、此會ハ是デ終リマシテ、延イテ昨日ノ會即チ十八日ノ會ニ於キマシテハ、此中愛澤寧堅君ハ風邪ノ故ヲ以テ出席ヲ御斷リニナリマシタガ、併シ其他ノ諸君ハ通知ニ依テ悉ク出席サレマシテ、此出席サレタ諸君ニ對シマシテ順序ヲ立テ諸君ノ辯明ヲ求メマシテ、即チ御一人ソ、辯明ガアリマシテ、其辯明ニ對シテ又委員會中ヨリシテ種々ノ質問等ガアリマシタ、段々ソレダケノ順序ニ依テ遂ニ七八ノ方ノ辯明ハ濟ミマシテゴザイマス、此濟シタ後ニ至テデス、尙又委員會中ヨリシテ此方ニ聞イタダケテハマダ事實ヲ詳悉スルコトガ出來ナイ、調査ノ目的ヲ遂ゲルコトガ出來ナイ、元來此事ノ調査ハ去ル十二月ノやまど新聞紙上ニ現ハレマシタルトコロノ人ニ限テアル、即チ藤崎君ノ提出ニナツタ八名ノ人ニ限テアル、併ナガラ此八名ノ人ニ對テ事實ノ調査ヲナサントスルニハ、是非トモ之ニ對スル關係者即チ誰ノ手カラドコニ於テ行キ合ッテ、ドウ云フ手變ニシテ金ヲ渡シタトカ取ツタトカ云フヤウナコトガアルカラ、ソレ等ノモノモ尋ネナケレバナラヌト、斯ウ云フ意味ヲ以テ又出席ヲ是ダケノ人ニ求メルト云フ發議ガゴザイマシタ、森久保作藏君、上埜安太郎君、井上角五郎君、田中喜太郎君、淺野順平君、持田若佐君、嶺山時善君、森秀次君、斯ウ云フ方ニ向テ出席ヲ求メテ、サウシテ辯明若クハ質問等ヲ致シタナラバ、一方調査ノ歩ヲ進メルコトガ出來ヤウト云フ議論ヨリシテ、是ダケノ求ガゴザイマシタ、然ルニ一方ニ於キマシテ最早出席ヲ求メルニハ及バナシ、例ヘバ今日出席辯明等ガアリマシタ諸君ノ說ヲ聞イテモ、或ハ竹芝館ニ會シタトカ、或ハドコソコテ

誰ニ會ツタトカ云フヤウナコトノ質問應答ガアリマシタガ、全ク斯ノ如キコトハ覺エガナイ、又行遭テ懇談ヲ致シタトコトハ、本年ニ至テ會ア面會シタトモナイ、其家ニ參リシコトモナイ、其方角モ知ラナイト云フコトデアリマシタ、彼ノ裁判所等ニ於テ調べルト云フガ如キ勿論手續ノ取レルモノデモナイ、此上幾人出席ヲ求メテ辯明ヲ求ムルト雖モ、其證據ノ舉ルト云フヤウナコトハナイ、元來茲ニ出ラレタ本人ガ斯ノ如ク言ハレタ以上ハ、之ヲ強テドウスルト云フ權能ハ固ヨリナイデアアルカラ、最早人ノ出席ヲ求メルト云フ、人ヲ煩ハスヤウナコトハシナイデモ宜シイト云フ議論ガ兩派ニ岐レマシタ、茲ニ至テ委員會ノ意見ヲ求メマシタトコロガ、出席ヲ求ムルニ及バヌト云フコトニナリマシタ(八名ト九名ト)ト呼フモノアリ)八名——ソレカラ其次ニ起ツタ議論ハ斯ク相成ツタトコロガ、是デハ調査ト云フコトヲ盡シタ譯デナイ、任務ヲ果シタト云フ譯ニ參ラヌカラ、此上トモ調べル途モアルデアラウ、ソレニ付イテハ特別委員若干名ヲ舉ゲテ——委員長ノ指名ヲ以テ特別委員若干名ヲ舉ゲテ、其者ヲシテやまど新聞或ハ竹芝館又ハ何ト云フ記事其他ノコトニ多少ノ關係ガアラウト云フコトニ付イテ取調ヲ致シタナラバ、尙一層事實ト云フコトニ近イコトガ出來レデアラウカラ、サウ云フコトニ致シテ此調ヲ進メヤウト云フ、斯ウ云フ議論ガアリマシテ、此議論ニ同意者ガアリマシタ、然ルニ之ニ又反對スル議論ガ起リマシタ、元來斯ノ如キ委員ヲ舉ゲタトコロガ、到底其目的ヲ果スコトハ出來マイ、如何トナレバ斯ノ如キ委員ヲ舉ゲルト云フコトハ議院法等ニ抵觸致シテ居ル、場合ガアル、ナゼナレバ即チ議院ハ人ヲ——人民ヲ召喚スルトカ、若クハ議院自ラ派遣スルトカ云フヤウナコトハ相成ラヌデア、職責上出來ナイ事柄ヲ、職責上當然爲スベキ委員會ニ於テ決議スルハ、甚ダ穩デナイ、斯ノ如キコトヲシタトコロガ、到底此上事實ノ詮議ノシヤウハアルマイ、寧ロ止メルガ宜カラウト云フ議論ガアテ、雙方互ニ議論ガゴザイマシタガ、是亦二說ニ岐レマシタニ依テ、ヤハリ其意見ヲ問ウタトコロガ、其委員ヲ設ケルヲ可トスル說ガ、七名(八ダロト)呼フ者アリ)可トスルモノガ八名、設ケナイデモ宜イト云フ方ガ九名、——先刻ノモ八名ト九名デシタカラ數ヲ訂正シテ置キマス、八名ト九名ノ差デ、二說共求メラレタコトガ終ツテシマヒマシタ、茲ニ至テ御報告申シタ通り、終結ヲ告ゲルノ文ヲ提出サレタデアリマス、是ハ豫テ先刻モ申シタ通り、八名ノ諸君即チ高梨君、尾見君、栗原君、小山田君、關君、武藤君、藻寄君、愛澤君此諸君ハ本院ノ體面ニ關スル行爲アルモノト認メズ、斯ウ云フコトヲ決議シテ終結ヲ告ゲタイ、斯ウ云フ議ヲ發セラレマシタ、然ルニ是ニ對シテ不同意ノ議論ガゴザイマシテ、不同意者ノ方カラ案ガ出マシテ、是モ御手許ニ配付シテ置キマスガ、順序トシテ茲ニ申述ベマス、是モ八名ノ諸君即チ高梨君、尾見君、栗原君、小山田君、關君、武藤君、藻寄君、愛澤君、此諸君ガ本院ノ體面ニ關スル行爲アリタルヤ否ヤ之ヲ確認スルコトヲ得ス、斯ウ云フコトニスルガ宜イト云フノヲ、最初申上ゲタ說ト一派ニ岐レテ互ニ議論モゴザイマシタ、其末是ガ決ヲ採ルコトニ相成ツタガ、御報告申シタ案ハ八名ニ對スル九名ノ多數ヲ以テ決定致シマシタ、因テ此段ヲ御報告申シマス、尙此義ニ付イテハ、少數意見モ提出ニナツテ居ルカラ、少數意見ノ御報告ガアラウト思ヒマス、此段御報告致シテ置キマス

○南條吉左衛門君 別段やまど新聞對シ問合セタコトハアリマセヌ、新聞紙上ノ記事ニ付イテハ、新聞モ御持チテシタカラ、定メシツレハ調モアツタセウ

○神藤才一君 然ラバモウツツ……、固ヨリ此事件ト云フモノハ、一ノやまど新聞ヨリ火ガ起ツタコトデアル、提案者モやまど新聞ヨリ外ハ無イト云フコトデアル、然ルトコロガ、順序トシテ八名ノ諸氏ヲ參考トシテ御招ギニナツテ、諸君ハ手ニ唾シテ御出席ニナツタ、ソレカラ後ニ紹介議員モ御呼出シニナラウ、出テ貴ヒタイト云フノヲ、ソレニモ及バヌ、然レバデス、其元タルやまど新聞ヲ御尋ニナツテ然ルベキデアル、其元ヲ尋ネズニ斯ノ如キ事件ヲ幽靈的ニ終ラスト云フコトハ、ドウ云フ譯デスカ、やまど新聞ハ或ハ事實證據ヲ持テ手ニ唾シテ待テ居ルタカモ知レヌ、然ルニ其事ハ本院ニ於テモ何レニアルカ、議會ニ於テモ諸君ニ於テモアルベキ答ハ無イト考ヘテ(「無用々々」議論デアル)ト呼フ者アリ

○神藤才一君 要スルニ、やまど新聞ヲ御調ニナリマシタカ、ソレデ其以上ニ及ンデ即チ(「無用々々」ノウ)ト呼フ者アリ(無用デナイ、アナタ方ハ(「無用々々」ト呼フ者アリ)無用デナイ、無用ト云フヤツハ怪シイノダ(笑聲起ル))

○南條吉左衛門君 唯今ノ神藤君ノ御問ハ、やまど新聞ヲ何セ調ベナカッタト云フノデスカ

○神藤才一君 御調ガナカッタナラソレマデ、親切ニ手ヲ盡シタラ宜カラウ、然ルトコロハ、不可能トシテ及バヌトシテシモウト云フノハ、幽靈ニナラヌ中ニ幽靈ヲ(「無用々々」)「分ラヌ」ト呼フ者アリ

○南條吉左衛門君 ソレハ斯ウ云フ譯デス、固ヨリ新聞社ヲ呼出スコトハ議院ハ權能トシテ出來ナイ、又議院カラ人ヲ派遣スルコトモ出來ナイ、唯今申シタヤウニ否決ニナツタカラ調ベル餘地ガ無イノデアリマス

○神藤才一君 其位ノコトハ知ツテ居ル、不親切デアル、不親切デアルカラ其汚名ハドウシテモ此議會ニ掛ルノデアル

○議長(杉田定一君) 望月長夫君

(望月長夫君登壇)

○望月長夫君 諸君、唯今委員長ヨリ本件ニ關スル委員會ノ經過ヲ御報告ニナリマシタ、其報告中ニアリマシタ通り、吾々ハ唯今委員長ノ報告ニナツタ意見ニ對シマシテ、皆反對ノ意見ヲ提起致シマシタガ、八名ト九名ノ即チ僅ナル差ニ於テ、此方ハ成立チマセヌデシタ、ソレデ吾々ハ此少數意見ヲヤハリ此議場ニ提出スルコトニナリマシタ、ソレ故ニ私ハ此少數意見ノ經過並ニ趣旨ニ付イテ、簡單ニ諸君ニ御報告ヲ申上ゲタイト思ヒマス、本件ハ御承知ノ通り表題ニ既ニ現ハレテ居ル如ク、本院ノ體面ニ關スルト云フ重

大問題デアル、立法部ニ立ツコロノ議員ガ、金錢ノタメニ其節ヲ二三ニシタルニアラザルカトノ疑ノ議場ニ持出サレ、サウシテ之ヲ明白ニシテ、議會ノ威嚴信用ヲ最モ明瞭ニ保持スベキ責任ノアル委員會デアツタ、然ルニ吾々ノ見ルトコロニ依リマスルト、不幸ニシテ委員會ハ、其當然爲スベク、且又當然爲ササルベカラザル手續ニ履行セズシテ、疑ハナリト云フ裡ニ、議事ヲ終了シヤウト致シタト吾々ノ頭ニハ感ズル、ソレ故ニ一方ヨリシテ、本院ノ體面ニ關スル行爲アルヲ認メズト云フ斷定ノ決議ヲ持出サウトセラレマシタケレドモ、吾々ハ不幸ニシテ之ニ反對セザルヲ得ヌコトニナツタ、私ハ今委員會ニ於テハ、其當然爲スベク、且又爲ササルベカラザル調査ヲ未ダ爲サナカッタト云フコトヲ申マシタガ、此點ハ委員會ニ於テ、明瞭ニ雙方ノ間ニ論戰ノアツタ事柄デゴザイマスカラ、孰レガ當レルカ、孰レガ不當デアルカト云フコトノ御判斷ヲ願ヒマスルガタメニ、雙方ノ論旨ヲ簡單ニ此所テ申述ベテ見タイト思フ、吾々ハ委員會ノ既ニ執リタル既ニ爲シタル調査ハ、尙僅ニ端緒ニ過ギズシテ、宜シ爲ササルベカラザル、主要ノ部分ヲ殘シテ居ルト云フ考ヨリシテ、委員會ニ於テ更ニ關係者ノ出席ヲ求メテ、サウシテ其任意ノ陳述ヲ聽取シタイト云フ動議ヲ出シマシタガ、之ニ贊成モアリマセズ、更ニ又然ラバ新聞紙ニ指摘セラレテ居ルヤウナ、事柄ガ起リタリト場所其他ニ付イテ、事實ヲ調査シタイト云フ動議モアリマシタケレドモ、是モ容レラレナカッタ、有ラユル調査ノ方法ハ、悉ク之ヲ拒絶セラレタ、而シテ之ニ反對セラレタ主要ノ理窟ハ種々ゴザイマシタガ、概略ニツアル、其第一ツニハ、是ハ確力磯部君ノ御説デアツタト思ヒマスルガ、此調査ニ付セラレタノハ、呼掛ケラレタ八名ニ止マルノデアル、此八名以外ノ人ノ出席ヲ求メテ、其陳述ヲ聽クト云フコトハ出來ナイノデアル、吾々ノ調ベル權能ハ、八名ニ限ラレテ居ルノデアルト云フ御論ガ一ツアツタ、併ナガラ是ハ、吾々ノ側デハ、全ク間違ツタ御論デアルト信ジテ居ル、吾々ノ委託セラレタ問題ハ何デアルカト云フト、私ガ初メニ申シマシタヤウチ、思ムベキ醜行ガアリタルヤ否ヤ、即チサウ云フ事柄ガ、事實存在シタカ否ト云フコトヲ調査スルノガ主要ノ點デアル、單ニ何某ヲ調べ、何某ヲ被告人トシテ調べト云フ問題ニハアラスシテ、即チ新聞紙ニ指摘シタルガ如キ、思ムベキ事實ガ存在シタルヤ否ヲ調べト云フコトデアツタノデアル、即チ委託セラレタル調査ノ範圍ハソレデアル、ソレデ此依託セラレタ範圍ノ内ニ於テ適法ノ手段ヲ執ツテ、若シ存在セザルナラバ——事實ノ存在セザルモノデアルナラバ、存在シナイノデアルト云フコトノ明白ニナルマデ、又疑フベキ點ガアルナラバ、其疑ハ此ノ如キ事實デアルト云フコトノ明白ニナルマデ、之ヲ取調べルノガ當然ノ話デアル、ソレヲ唯此八名ノ人以外ノ人ニ付イテハ、何等ノ尋モ出來ナイトカ何トカ云フヤウナコトハ、吾々ガ如何ニシテモ道理ノ上カラ見テモ、委託セラレタル權限ノ上カラ見テモ、感服スルコトノ出來ヌ所論デアツテ、吾々ハ結局爲スベキ調査ヲ、未ダ盡サズニ終ラナケレバナラヌト云フコトニナルノデアアルカラ、此點ニハ少數ノ者ハ反對シタ、ソレカラ次ニハ、先刻委員長カラ御述ニナリマシタ、即チ或ハ此思ムベキ事實ヲ承知シテ居ルトカ、或ハ此思ムベキ事實ヲ働掛ケテ爲シタトカ、指摘セラレテ居ル、即チ關係事實ノ中ニ書現ハサレテ居ル諸君ヲ、任意ノ出席ヲ求メテ尋ネヤウト云フ義ニ對シテ、是ハ出來ナイト云フ議論デアル、是ハ確力立川君ノ立論デアツタト思フ、而モ議院法及衆議院規則ノ基礎トシテノ御議論ガアツタ、是ハ成程規則ノ表面カラ見レバ、此議論ハ相當デス、其議論ノ相當ナルコトヲ私モ明言シマス、衆議院規則ノ五十二條ヲ讀ンデ見マシテモ、百十一條

ヲ讀シテ見マシテモ、百九十八條ヲ讀シテ見マシテモ、此委員會ニ出席シテ意見ヲ述
 ベルトカ、或ハ資格審査ノ會、若クハ懲罰事犯ノ會ニ出テ辯明ヲスルトカニ云フコトハ、
 議員ノ權利トシテ認メラレテ居ルハ、議員ノ義務トシテハ書イテナイ、此事ハ立川君ノ言
 ハレル通りナル、サリナカラ是ハ即チ法律上ノ問題ナル、法制ノ上カラ、法律ノ命ヲ
 致シテ居リマスルモノハ、同僚議員ガ、若シモ無實ノ言掛リテ受ケテ居ルコトスレバ、進
 ンデ之ヲ明白ニシテ、一ニハ同僚議員ノ冤ヲ雪ギ、延イテハ議會ノ威嚴信用ヲ維持スル
 ンデ、本分ガアルト私ハ信ジテ居ル、ソレ故ニ任意ノ出席ヲ求メルト云フコトハ、委員
 會ニ於テ何等ノ差支ノ事柄ナル、若シ之ガ出來ナイ、爲シテナラヌ事柄ナルト云
 ハル、ナラバ、何故ニ他ノ八名ノ議員ヲ出席ヲ求メルト云フコトニ同意サレタカ、八名ノ議員ニ
 對シテモ、議院法ニハ決シテソノ權限ハ書イテナイ、私ハ決シテ豫斷ヲ持テ居リマセ
 ス、斯ノ如ク新聞ニ指摘セラレテ居ルヤウナ醜行ガ、アリタルベシトノ豫斷ヲ持テ居リマ
 セネバ、又其代リニ、決シテ之無カルベシトノ豫斷ヲ無キ、委員諸君悉クサウデアッタラウ
 ト思フ、何レノ側カラ見テモ、之ヲ明白ニスルガケノ責任ハ、ドウシテモ調査委員會ニ存
 在致シタルニ相違ナイノデアアルノミナラズ、強テ此ノ如キ調査ヲ早ク切上ゲレバ、却テ之ガ
 タメニ或ハ此急グノハ、却テ丁寧ニ審査シタラバ、不利ナ事實ガ出ルカラデアアルマイカト
 云フヤウナ疑ヲ起サセルヤウニナレバ、此忌ムベキ問題ノタメニ指名セラレタ諸君ノタメニハ
 誠ニ氣ノ毒ナ話ニナルノデアアル、(ヒヤク)何レノ點カラ見マシテモ此手續ヲ盡サシテ
 止ムト云フコトハ、ドウシテモ不條理ダ、殊ニデゴザイマス、委員會ハ何ヲ致シタカ、唯
 提議者タル藤崎朋之君ノ出席ヲ求メテ辯明ヲ請ヒ、及疑ハレタル諸君ノ辯明ヲ聽イタ
 ダケデアアル、噲ハ惡ルイ噲ダ、誠ニ面白クアリマセダ、唯之ヲ噲トシテ御聽ヲ願ヒマスレ
 ハ、恰モ告訴狀ト被告入トダケノ陳述ヲ聽イテ、告訴狀ヲ見、被告人ノ陳述ヲ聽
 イテ、告訴狀ニ指示セラレテ居ル一切ノ證據ヲ取調ベナカッタ同シ話ダ、是ハ噲ガ惡ル
 イ——噲ガ惡ルイ、刑事ノ被告デモ何ンデモナイ、私ハ曩ニ言フ通り豫斷モ何モ有ラ
 居リマセダ、併ナガラ噲ハ其通りデアアル、先刻愛澤寧堅君ト云フコトヲ御述ニナリマ
 シタガ、愛澤寧堅君ノ如キハ私共ガ考ヘルト實ニ不幸ナ話デアアル、病氣ノタメニ出
 席ガ出來ナカッタ、委員會ハ結了ヲ急イタガタメニ之ヲ辯明ノ時機ヲ與ヘナカッタ
 (ヒヤク)少ナクモデス、愛澤寧堅君病氣デ出ラレヌトシテモ、之ヲ買收シタト云ハ
 レテ居ル森久保君ノ出席ヲ求ムルコトガ出來タナラバ事實ハ判明ニナル、然ルニ一切
 ヲ了シテシマツテ、ヤハリ疑ハ疑ナリトシテ調査ヲ結了スルト云フコトハ、吾々ガ類リニ
 反對ヲ致サナケレバナラヌ筋道デアッタ(拍手スル者アリ)今モウ一ツハ調ベテモ結局調ベキ
 レナイ、效果ヲ得マイ、斯ウ云フ御論ガアリマシタ、委員長ハ專ラ其趣意ヲ多ク述ベラレタ
 ヤウデス、成程此委員會ニ、司法官ノ如キ搜查機關、又搜查スル權力モナイコトハ無論
 ノ話デアアルケレドモ、既ニ調査スベシトシテ委任セラレタ以上ハ、眼前ニ指示シ得ルガケノ
 事柄ハ、ヤハリ手續ヲ盡サナケレバ十分ノモノトハ言ヒ得ヌデアアル、殊ニデゴザイマス、前
 刻申シマシタ如クニ、私共ハ決シテ是等呼懸ケラレタル諸君ニ、不都合ノ行爲ノナイコト
 フ信シヤウトスルモノデゴザイマスケレドモ、前刻申シタ位ナ範圍ニ限ラレタルガタメ
 ニ——更ニ出席ヲ求メヤウト致シテ、指名サレタ人ノ中ニハ、例ヘバ嶺山時善君、淺
 野順平君、田中喜太郎君、持田若佐君ト云フガ如キデゴザイマス、屢ハ高梨君アタリ

ノ口頭カラ漏レ現レマシタ、即チ諸君ニ對シテ敵意ヲ有ラレテ居ルト、諸君カラ御指示シ
 ナル、即チ大同派ノ諸君デアアル、是等ノ人ヲ出席ヲ求メテ、其説明ヲ聽クコトガアッタナ
 ラバ、或ハ意外ニ私共ノ決シテ好マサル、即チ其有ルコトヲ好マサル反證ガ出タカモ分ラ
 ナイ(大丈夫出ルダラウ)ト呼フ者アリ)然ルニ是等一切ノ手續ヲ致サシテ、サウシテ直
 チニ本院ノ體面ニ關スル行爲アリタルモノト認ムルヲ得ス——認メズ、此ノ如クニ確定シ
 タル斷定ヲ下サントスルコトハ、即チ知ラザルコトヲ強テ知レト云フデアアツテ、吾々ガド
 ウシテモ、其決議ニ同意ヲスルコトハ出來マセズ、又全體ノ議員諸君ニ向テモ此ノ如キ
 信念ヲ起サシメ得ルガケノ材料ヲ調ベズシテ、其信念ヲ強ユルコトハ誠ニ無理ナ話デア
 ルト信ジマシタルガ故ニ、ソレ故ニ吾々ハ前ニ申シマシタヤウニ、今マテ調ベタ程度ニ於テハ、
 餘儀ナク本院ノ體面ニ關スル行爲アリタルヤ否ヤハ之ヲ確認スルヲ得ズ、即チ吾々ノ信
 念ヲ確定スルニ足ルベキ調ガ出來テ居ナイト云フコトヲ御報告ヲスル外ナイ境遇デアアツタ、
 ソレ故ニ……(立川雲平君)質問致シタウゴザイマスガ御答ナサイマセウカ(ト呼フ)少シ御
 待チ下サイ、今一言申シマスカラ——ソレ故ニデゴザイマス、滿場ノ諸君ニ於テモ委員長
 ヲリ報告ニナッタ委員會多數ノ意見ヲ御承認相成ラズシテ、今報告致シマシタ少數意
 見ニ御贊同アラントコトヲ希望致シマス

(拍手起ル)

○立川雲平君 チョット御尋致シタウゴザイマスガ、唯今ノ御演說中ニ範圍ノコトデア
 リマスガ、指名セラレタル八名ノ御方ミヨリ以外ニ、ヤハリ範圍ハ延ビテ居ラタト云フ御
 演說デ、サウ心得テ宜シウゴザイマスガ(ノウク)

○望月長夫君 イエ、ザウヂヤナイ、八名ノ御人ニデゴザイマスネ、八名ノ御人ニサウ云
 フ事實ガアツタカナイイカラ調ベルノ調査デアアツテ、受ケル人ガアレバ、與ヘル人ガアル、受ケ
 ル關係ヲ調ベルヨリ、權力ガナイト云フノデナクシテ、ヤハリ與ヘタ事實ヲ見レバ、受ケタ
 事實モ見ラレルノゴカラ、關係事實ハ調ベ得ルト斯ウ信ジテ居ル

○立川雲平君 チョット望月君ノ委員會ノ御演說ノ筆記ガゴザイマス、「望月長夫君
 請查スベキ範圍ハ大抵極テ居ルト思フ、要スルニ指名セラレタル人ニ於テ體面ヲ損
 ズル行爲アリタルヤ否ヤ」……

○望月長夫君 其通り其通り

○立川雲平君 アナタノ唯今ノ演說トハ少シ主旨ガ異ナルヤウニ思ヒマス

○望月長夫君 チットモ違ヒマセヌ——少シモ違ヒマセヌ

○議長(杉田定一君) 少數者ノ意見ハ、委員長ノ報告ニ對スル修正ト認メマス、
 (贊成)ト呼フ者アリ)此修正ニハ定規ノ贊成ガアリマスガ
 (贊成)「大贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 贊成ガアルト認メマス、此修正ハ成立ヲ致シマシタ、大岡育
 造君

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君 本員ハ委員長ノ報告ニ贊成ノ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、本員等
 ガ曩ニ決議ノ結果トシテ委託ヲ受ケタノハ、本院ノ體面ヲ保ツガタメニ本院ニ於テ、本院
 ノ體面ヲ損ス者アリヤ否ヤヲ調ベルトデアアル、唯今マテ三委員長及少數意見者

ノ御報告ノゴザリマシテ通りニ、藤崎君ノ出席ヲ求メ寧ろ藤崎君ハ自ラ出ラレテ述ベラレ
 マシタトコロハ、やまも新聞ニ記載サレタルトコロノ事項ヲ事實アリト信ズルト云フ譯デ
 ハナイ、アルヤ否ヤヲ調ベテ貫ヒタイノデアル(「其通り」ト呼フ者アリ)而シテ君ニハ尙此外ニ
 何か證據ヲ持タレカ、立證セラレルカト云フコトヲ尋ネマシタケレドモ、左様ナ證據ハ
 持タヌト云フコトヲ明言セラレタノデアリマス、因テ指名セラレタルトコロノ諸君ニ通知ヲ
 發シテ、此諸君ノ出席ヲ求メマシタトコロデ、此諸君ノ説明ニ對シマシテハ、若シ不十分
 ナコトガアルカ、如何デアルカト云フコトヲ吾々ハ考ヘタノデアリマス、然ルニ此八名ノ諸君
 ノ辯解ニ對シマシテハ、反對黨デアルトコロノ大熊君モ速記ニアル通ニ其御辯明ニハ十
 分満足ヲシタト書カレテアリマス、又年長者デアルトコロノ岩本君モ之ニ満足セラレタ
 ノデアル、若シモ此説明ガ不満足デアラバ、若シ不十分ナル點ガアルナラバ、是亦諸
 君ガ論ズルモ可ナリデアルガ、此八名ニ對シテ説明ヲ受ケタ、其説明ニ對シテハ十分ニ滿
 足ヲ表シテ置イテ(「三百代言」)「謹聽々々」ト呼フ者アリ)而シテ尙此調査ヲ進行シタイ
 ト云フコトデアリマス、因テ私共ハ此調査ノ妨ゲハセヌガ、是ヨリ以後ニ於テ(「ヤルトコ
 ロマデヤルベシ」ト呼フ者アリ)諸君ハ果シテ自信ガアルカ、個人トシテ委員ヲ設ケテ其委
 員ガ個人トナシテ調査ヲ行ハバ、何カ出ルカモ知レヌト云フ御意見デアッタ、所ガ個人トシ
 テ若シ調査ヲ行ハバ、十二日ヨリ以後今日即チ昨日マデニ幾ラモ時間ハアルデア
 ル、委員會ヲ命ジテ委員ガ何處カニ行ッテ調査ヲ行ハバ、格別デアリマスガ、
 此權能ハ出ナイノデアル、若シ言付ケラレタ人ガ、自分ノ好キデ或ハ待合ニ行クカ、或ハ
 料理屋ニ行クカ致シマシタトコロデ、果シテ何ガ出ルカ、若シソレダケ好キデアラバ、サ
 シ云フ若シ疑問ガアルナラバ、自カラ昨日マデニ提供セラレテ可ナリデアル、因テ私ハ申シ
 タノデアル、諸君ノ進行ヲ決シテ妨ゲヌガ、諸君ハ是ヨリ進行シテ尙ヤルベキトコロノ疑ヲ
 有ッテ居ルナラバ、證據ヲ御出シナサシテハ如何、此點ニ付イテ決シテ妨ゲハシナイ、又
 出シ得ルト云フ權能ガアルナラバ、ソレニ私ハ妨ゲハ致スマイト申シマシタケレドモ、此點ニ
 付イテハ何等答ハナイノデアル、唯同僚ノ中ノ名ヲ擧ゲテ置イテ、モウ一度調ベタラ何カ
 出ルデアラウト云フニ過ギナイ、又吾々ノ調査ノ程度ヲ評シテカラ恰モ刑事ノ告訴ヲ受ケ
 テ、其告訴狀ト被告ノ申條ヲ調ベタニ過ギヌト言ハレマシタ、是ハ法律家ノ御捕ニモ
 不似合ナルコト、私ハ信ズル、ナゼナラバ刑事ノ告訴ヲ受ケル者ハ、誤レバ被告ノ罪ニ處
 ラレル責任ガアル、自ラ言フ人ニハ告訴狀ノ證據ヲ備ヘテ申スノデアリマス、然ルニ藤崎
 君ニ尋ネテ見タトコロデハ、決シテ私ニハ證據ハナイ、有ルト信ズル譯デモナイト云フ
 (「刑事ノ被告トハ違フ」ト呼フ者アリ)刑事ノ被告トモ違フ民事ノ被告トモ違フ、原告
 ト被告ト云フ場合ニナラヌ、故ニ果シテ證據ガアルト云フコトナラバ、吾々ハ決シテ妨ゲヌ
 ガ、議院法ノ明文ニ照シ議會ノ是迄ノ經過ニ考ヘテ見ルニ、斯ノ如キ問題ヲ日々同ジコト
 ヲ繰返スコトガ、果シテ議會ノ體面デアルヤ否ヤヲ思ハナケレバナラヌデアル、(「ヒヤク」)

其例ハ違カラズ(「蓋ラスルナ」ト呼フ者アリ)決シテ蓋ラ致サヌノデアル、試ニ諸君想像ヲ
 シテ、諸君ノ中ニ有志ガアツテ待合ニ通ヒ、若クハ料理屋ニ行ッテ見テ、果シテ如何ナル
 コトガアリマシラウカ、曩ニ秋山君ノ身ノ上ニ關シテ私ハ甚ダ不同意デアッタケレドモ、
 諸君ノ多數ガ激シテ隨分手廣ク御遣リニナリマシタケレドモ、其結果ハノ通りデアル、
 要スルニ議院ノ爲スベキ權限ガアルデアラカ、其程度ニ於テ調ベテ見テ、若シ
 此八名ノ呼掛ケラレタ諸君ノ答辯等ニ不十分ナル點デモアルナラバ、格別デアルケレドモ、

ソレガナイ以上ニ於テ何か引張ッテ居ル中ニハ出ララウト云フガ如キ、委員會ヲ進行
 スルノ寧ろ本院ノ體面ヲ重シズルノ趣意ニ適ハヌト本員ハ思ヒマス(「ソウ」)「ヒ
 ヤク」ト呼フ者アリ)此故ニ吾々ハ自カラ見タル其程度ニ於テ、此八名ノ諸君ニ議院
 ノ體面ニ關スル事實アリト認メズト云フ決定ヲ致シタ譯デアリマスカラ、何分御贊成ヲ
 希望致シマス

○議長(杉田定一君) 藤崎君之君
 ○阪口仁一郎君 大岡君ニ質問ガアル
 ○議長(杉田定一君) 藤崎君ニ登壇ヲ許シマシタ
 (藤崎君之君登壇)
 (拍手起ル)

○藤崎君之君 諸君、本案ノ提出ニナリマシテ以來、各委員ハ勿論、指示セラレマシ
 タ同僚諸君ニモ御出席ノ勞ヲ取ラレマシテ、本日委員長ノ報告ヲ受ケルコトヲ得マシタ
 ノハ、甚ダ謝スルトコロデアリマス、併シ又例ノ足ヲ捕ヘテ謝スルト云フコトガ満足デア
 ルト云フ意味トハ違ヒマスデアル(「ヒヤク」)唯本員ガ不肖ナル提出ヲ容レラレテ、斯クマ
 デ御調ヲ蒙ラシテ勞ヲ謝スルデアリマス、既ニ是ダケノ御調査ニナルト云フ事柄ハ業ニ既
 ニ本院ノ威嚴ヲ保持スル上ニ十分ナル御注意ヲ拂ハレテアルト云フコトハ、表白ヲ致
 シタ事柄デ、此一事以テ既ニ本員ノ提出ヲシタ一部ノ意思ヲ達シタノデアリマス、併ナ
 ガラ又一方少數委員ノ御報告ヲ承リマスルト今ノ委員長ノ報告ニハ、誠ニ羈勒ノ感ガナ
 キ能ハヌデアリマス、果シテ是ダケノ御調査ヲ國民全體ハ満足ヲ致スデアラカ(「君ノ
 調方ハドウダ」ト呼フ者アリ)ソレハ自カラ世間ニ信任アルベシ、國民ニ信任アルベシ、又是
 ダケデ果シテ本院ノ面目ヲ十分ニ發揮スベキ程度ニ迄御調ノ出來ヌモノデアルト云フコト
 ニ至リマスルト、誠ニ甚ダ遺憾ナ始末デゴザイマス、是ハ唯本員ノ遺憾ナルノミナラズ、指
 示セラレタル同僚諸君モ是ダケノ事柄デハ満足至極デアルト云フコトハ、恐ラク御承知ニ
 ナルマイト思フデアリマス、事茲ニ至リマスルト、曩ニ委員長並ニ少數意見ヲ報ゼラレ
 タ望月君ノ御議論ニ依リマシテモ、委員ノ權カト云フモノハ、此以上ニ取調ヲ許サヌ
 ト云フノ議論ニ多數少數ノ勝敗ニアッタヤウニ承リマスルデアリマスガ、是ハ既ニ望月
 君ノ御論ニモナリマシタ如ク、既ニ一部ノ人ハ出席ヲ求メテ説明ヲ聞キ得タノニ、他ノ部
 分ノ人ハ説明ヲ聞キ得ナイト云フコトハ、道理ニアルベキコトデモナク、又私ハ古キ事柄
 ハ存マセヌガ、此數年以前ニ秋山君ガ同僚ナル嫌疑ヲ受ケマシタトキノ委員會ノ進行
 ヲ承リマスニ、十分ナル調ガアッタヤウデアリマス、其調ベタ結果ト云フモノハ、全ク其宣告
 セラレタ罪狀ト云フモノハ、能ク調ベタ結果、全ク消失セテシマツテ、サウ云フ事實ハナイ
 ノデアル、然レドモ云々ト云フ御表決ニナツタ承テ居ル、此事例ニ依リマシテモ亦其事例
 ノ如クニ全然變ラズトモ、賢明ナル委員諸君ノ腦裏ヲシテ、如何ニモ此ノ如クデアルト
 確認スルダケノ材料ヲ御蒐集スルダケノ方法ハ、如何様デモ進行シ得ベキモノデアラウト
 信ズルデアリマス、サウシテ尙一應辯シマスルノハ、先刻來大岡君ノ御演說中ニモアツタ
 カト伺ヒマシタガ、本員ノ提出致シマシタ提案ハ之ヲ訴訟ニ喩フレバ、無責任ナル提案
 デアルガ如クニ論ゼラレタデアリマス、(其通りデアル)ト呼フ者アリ)諸君ハ然ラバ何故
 ニ之ヲ御容レニナツタカ(「ヒヤク」)結局此問題ハ本員ヲシテ判斷ニ迷フノミナラズ、滿

ニ至リマスルト、誠ニ甚ダ遺憾ナ始末デゴザイマス、是ハ唯本員ノ遺憾ナルノミナラズ、指
 示セラレタル同僚諸君モ是ダケノ事柄デハ満足至極デアルト云フコトハ、恐ラク御承知ニ
 ナルマイト思フデアリマス、事茲ニ至リマスルト、曩ニ委員長並ニ少數意見ヲ報ゼラレ
 タ望月君ノ御議論ニ依リマシテモ、委員ノ權カト云フモノハ、此以上ニ取調ヲ許サヌ
 ト云フノ議論ニ多數少數ノ勝敗ニアッタヤウニ承リマスルデアリマスガ、是ハ既ニ望月
 君ノ御論ニモナリマシタ如ク、既ニ一部ノ人ハ出席ヲ求メテ説明ヲ聞キ得タノニ、他ノ部
 分ノ人ハ説明ヲ聞キ得ナイト云フコトハ、道理ニアルベキコトデモナク、又私ハ古キ事柄
 ハ存マセヌガ、此數年以前ニ秋山君ガ同僚ナル嫌疑ヲ受ケマシタトキノ委員會ノ進行
 ヲ承リマスニ、十分ナル調ガアッタヤウデアリマス、其調ベタ結果ト云フモノハ、全ク其宣告
 セラレタ罪狀ト云フモノハ、能ク調ベタ結果、全ク消失セテシマツテ、サウ云フ事實ハナイ
 ノデアル、然レドモ云々ト云フ御表決ニナツタ承テ居ル、此事例ニ依リマシテモ亦其事例
 ノ如クニ全然變ラズトモ、賢明ナル委員諸君ノ腦裏ヲシテ、如何ニモ此ノ如クデアルト
 確認スルダケノ材料ヲ御蒐集スルダケノ方法ハ、如何様デモ進行シ得ベキモノデアラウト
 信ズルデアリマス、サウシテ尙一應辯シマスルノハ、先刻來大岡君ノ御演說中ニモアツタ
 カト伺ヒマシタガ、本員ノ提出致シマシタ提案ハ之ヲ訴訟ニ喩フレバ、無責任ナル提案
 デアルガ如クニ論ゼラレタデアリマス、(其通りデアル)ト呼フ者アリ)諸君ハ然ラバ何故
 ニ之ヲ御容レニナツタカ(「ヒヤク」)結局此問題ハ本員ヲシテ判斷ニ迷フノミナラズ、滿

此八名ノ呼掛ケラレタ諸君ノ答辯等ニ不十分ナル點デモアルナラバ、格別デアルケレドモ、

場ノ諸君ヲシテ判斷ニ迷ハシメカラスシテ、其判決ヲ調査委員會ニ委託シテハナイカ、然ルニ之ヲ受ケタル調査委員會ガ御托シニナラズ點ガ疑問アル、分リマセヌト云フ報告ハ、成程宜シト云ウテ御是認ニナルト云フコトノ常理ガナイ、故ニ本員ハ之ヲ提議ヲ致シマシテ當初ノ意思ニ基イテ、諸君ガ無責任ナリト云ヘバ無責任ヲ宜シイ其無責任ニ御贊同ニナラテ相共ニ調ベヤウト云フ御約束ニ基イテ、調ベ得ル限リハ之ヲ調ベテ、一ハ以テ國民ノ信用ヲ益シ、本院ニ置カセル程度ニマテ進行セシムルト云フコトハ、御同様ノ責任デアルト信ズルデアリマス、此ノ如キ常理デアリマスガ故ニ、本員ハ少數意見ニ同意ヲ致シマシテ、飽迄此修正ノ通過セントコトヲ希望致シマス

○坂口仁一郎君 大岡君ニ質問致シマス、例ヘバ之ガ裁判ニ喩ヘテ見レバ、告訴スルニハ相當ノ證據ヲ備ヘテ掛ラナケレバナラヌト云フコト、大岡君ノ御演說中ニアツタ、此藤崎君ニ尋ネテ見ルト、別ニ證據ハナイト云フ、證據ガナイト云フコトアレバ、此上調ベテモ無益デアルト云フ

討論ガアツタト思ヒマスガ、サウスルト大岡君ハ八名ナリ九名ナリヲ藤崎君ガ被告人トシテ議場ニ告訴シタト云フノデスカ(何ヲ言フンダ)ト呼フ者アリ此點ヲ伺ヒマス

○大岡育造君 是カラ御答シマス、坂口君ノ當日ノ議席ニ御出ニナツタコトデアリマスカラ、御承知ノコトデアルト考ヘマス、藤崎君ノ動議ニ依ッテ八名ノ諸君ガ呼バレテ、吾々ハ其指名ヲ受ケテ委員トナツタ譯デアリマス、是ダケデア宜カラウト思ヒマス

○議長(杉田定一君) 磯部四郎君 (此時坂口仁一郎君發言セラレドモ議場騒然聽取スルコト能ハス)

○議長(杉田定一君) 磯部君ニ發言ヲ許シマシタ、坂口君ノ發言ヲ止メマス

(磯部四郎君登壇)

○磯部四郎君 ナニ少々後レテモ宜シウゴザイマス——私モ詰リ委員長報告ノ趣意ニ贊成ヲ致スモノデゴザイマス、イロ／＼御議論ガゴザイマスガ、私ハサウ云フムツカシイ御討論ノ中ニハ餘リ交ルコトノ嫌ヒデゴザイマスガ、詰リ此問題タルヤ、本院ノ體面云々ト云フコトデゴザイマスケレドモ、一やま／＼と新聞ト、此やま／＼と新聞ニ揚ゲラレタ即チ記事ニ載ッテ居ル方ミトノ信用如何ノ問題アラウト私ハ考ヘル、ドウ云フコトデゴザイマスカ知ラヌケレドモ、私ノ僻見カハ存シマセヌケレドモ昨日ノ神崎君ノ口調ヲ籍ツテ言ヘバ、私ノ邪推カモ知レマセヌガ、イヤニ或ル一方ノ人ガやま／＼と新聞ニ平生ツレ程信用モ置イテ居ラヌ方々マデモやま／＼と新聞ノ記事ハ殆ド事實ノ如ク見ラレテ、吾々同僚タルトコロノ御名譽アル議員ノ辯明ト云フコトヲ以テ、之ヲ何カ信ズベカラザルカ如ク口調ヲ以テカラニ御議論セラレ、ノハ、私ハ誠ニ異ナ考ヲ致スノデゴザイマス、私ハやま／＼と新聞ト云フモノハ、一昨年アタリカラ起リマシテ、大變ニ此頃ハ何カ目下愛國ノ致ストコロナンデアルカ、何デゴザイマスカ頻リニ日本鐵道ナドノ惡口ヲ御書キニナリマシテ、時々ハ吾々共ノ事ヲ有ルコト無イコト素破抜イテ、家内ニ葛藤ヲ起サセルコトガゴザイマスカラ(笑聲起ル)或ハ明日アタリカラドウ云フコトヲやま／＼と新聞ニ書カレルカ知リマセヌガ先ツやま／＼と新聞ニハ餘リ信用ヲ持チマセヌデアリマス、デゴザイマスカラシテ、私ノ家ニモ別段ニ御配付ヲ願ヒマスト云フデヤツタ譯デアゴザイマセヌガ、イツ頃カラカやま／＼と新聞ノ配達ヲ受ケマスルガ、此問題ガ議場ニ起ルマデ、コナ新開ハ讀ンダコトモナカッタデゴザイマス、少シモ信用致シマセヌ、而カ致シマシテ、我同僚タルトコロノ御此やま／＼と新聞ノ記事ノタメニ、大イナル迷惑ヲ被ラレタ方々ガ一回ノ御臨席ヲ願フデ、快ク出テ來テ、即チ一々御辯明

ガゴザイマシタカラスシテ、私ハ其方々ノ言ハレトコロヲ以テ、眞ノ事實デアラウト考ヘマシタマケノ話デア(ヒヤ／＼)然ルガ上ニ尙此事柄ガ委員十八名ヲ願ハレタケレドモ、ソレダケノ心證ヲ定ムルコトガ出來ズ、之ヲ確認スルニ由ナイトカ、アリタルヤ否ヤ、誠ニ吾々ハ無能力ニシテ其認メガ付キマセナンダト云フ報告ハ私ハ出來ヌ、是ニ於テ私ハ即チ本院ノ體面ニ關スル行爲アリタルモノト認メズ云々ト云フノハ、私ノ眞意ヲ發表シタ是ガ報告書デアリマスカラ、ソレニ同意ヲシタマケノコトデアル、決シテ私ハ此滿場ノ諸君ニ於テモ、即チ同僚諸君ニ恩怨ノ關係モ何ニモゴザイマス、即チ各々方ノ信ゼラレタルトコロモ、或ハ此議院ノ體面ヲ思フテノコトデアラウ、又本員共ノ信ズルコトコロモ、ヤハリ此議院ノ體面ヲ想フテノコトデアル、其體面ヲ思フタメニ即チ同僚タル此議員八名ノ信用如何ト、一やま／＼と新聞ノ價直トヲ取ツテ、比較セント彼此論ゼラレノハ、不見識至極ナ話デアル、故ニ即チ私ハ委員長報告通りニ贊成致シタデアル、滿場諸君、ドウカ委員會ノ報告ニ宜シク御贊成アラント願ヒマス

○議長(杉田定一君) 大竹貫一君 (討論終結)ト呼フ者アリ

(大竹貫一君登壇)

○大竹貫一君 我ハ誠ニ今日ハ遺憾ニ堪ヘヌデゴザイマス、ナゼナレバ此問題ニ對シマシテ委員長ノ如キ、或ハ大岡君ノ如キ、又今磯部君ノ如キ、演說ヲ拜聽スルコトハ餘程私ハ本意デアナイデゴザイマス、ナゼナレバ斯ノ如クテ、此タメニ冤罪ヲ受ケラレタトコロノ八名ノ諸君ノ體面ヲ雪グコトモ出來マセヌ、又本院ノ面目ト云フコトヲ雪ギ得ルコトハ到底出來ヌノデアリマス(ヒヤ／＼)「ノウ／＼」ト呼フ者アリ「ナゼデアリマセウカ、始終何カ原被兩告ノ如ク、例ヘバオカシイコトデアリマスカナレドモ、所謂俗ニ言ヒマスル片口開イテ解辭ナシ(原告ノ方ハ黙ッテ居ルデアナイカ)ト呼フ者アリ」ドウ致シマシテ、是ハ最前少數意見ノ望月君ガ能ク辯解サレマシタ如ク、八名ノ方ノ單リ意見ヲ聞キマシタ、是ニ關係アルトコロノ人々ノ意見ヲ聞イテ、然後御定メニナツタモ、決シテ此問題ハ遅カラヌデアリマス、何故ニ此政友會ノ諸君ノ方々ガ斯クマテ御急ギニナツテ、御定メニナツタコトガアリマセウカ、私モ昨日ハ委員會ノ席デ傍聽致シマシタ如何ニモ此政友會ノ人々ガ御急ギニナツタ景色ガ見エマス、是ハ誠ニ政友會ノ諸君ノタメニ私ハ忍ル、ノデゴザイマス、アノヤウナコトヲ爲サレタナラバ、決シテ此天下ノ民心ヲ安ズルコトハ到底出來ヌノデアリマス(ノウ／＼)「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ「況ヤ此體面ヲ保ツコトハ尙更出來ヌ、又況ヤ是ガ同僚八名ノ冤ヲ雪グコトハ出來ヌ、少ナクモ同僚八名ノ冤ヲ雪ガントスレバ、出來ルダケ諸君ガ手ヲ盡シテ、然後後定メテモ遅カラヌ話デアル、又關係ノ人々ヲ合意ノ上テ來テ欲シイト云ノ通告書ヲ出シテハ、ドウカト云フ委員ノ發言モアツタ、是モ諸君ノ容レヌ、若シ御出デニナラヌナラバ、之ヲ追窮スル權能ハ議院ニハナイト云フ、併ナガラ八名ノ方々ノ中一人ハ病氣ガ缺席セラレタガ、他ノ人々ハ喜ンデ快諾シテ委員席ニ出マシタ、他ノ關係ノ人々ハ即チ我同僚デアル、己ノ同僚ノ冤ヲ雪グタメニハ、喜ンデ快諾セラレ、デアラウ、何故ニ八名ノ外ノ人々ガ忌避サレルデアリマセウカ、必ズヤ我同僚ノ冤ヲ雪ガタメニハ、喜ンデ出席セラレルコトハ當然デアリマス(「惡例ヲ貽スヲ恐レルナリ」)「黙マレ」ト呼フ者アリ、笑聲起ル)又況ヤ此事業ト云フモノハ、獨リ此度ノコトデアリマセヌ、即チ秋山君ノ如キ、星亨君ノコト、云ヒ、前例ガアルデアリ

官報號外 明治四十年三月二十日 衆議院議事速記第十八號 本院ノ體面ニ關シ調査ノ件

マスル、又諸君ハ此新聞紙ノコトハ如何ニモ磯部君ノ如キハ、やまど新聞ハ一小新聞トシテ採ルニ足ラヌ如ク御論ニナリマシタレドモ、諸君ノ尊敬スルコトコロノ亡星亭君ハドウデアリマスカ、取引所問題ニ於テ新聞ノ即チ記事ノタメニ、アノ冤罪ヲ得ラレタデアリマセヌカ、アレガ元デアリマス、取引所問題ガ本デアリマス、(サウデハナイ、當時ノ速記録ヲ御覽ナサイト呼フ者アリ)又秋山君ノ如キモ、二六新聞、我新聞ノ記事カラ出タノデアル、今日ノ程度ニ於テ新聞ヲ諸君ガ輕視スルコトハ、大變ナ間違デアル、是ハ決シテ我輩ガ新聞紙ノ説ヲ主張スルノミデアリ、諸君ノタメニ惜ムデアル、殊ニ政友會諸君ノタメニ惜ムデアル(「餘計ナコトダ」ト呼フ者アリ)何故ニ諸君ガ昨日ノ如ク憐テ、シタノデアルカ、ソレナ必要ハ毛頭ナイノデアル(「憐テハシナイ、黙マレ」)議員ノ爲シ得ベキ權能ヲ以テ爲シタノデアルト呼フ者アリ)諸君、私ハ失禮デアリマスガ、最前大岡君ガ言ハレタ、先ニ我同僚ノ席カラ百五十ト云フ問題ガ出テ居ル、如何ニモ大岡君トシテハ今日ハ惜シイコトデアリマス、委員トシテハ満足ヲ致シタト云フ言葉尻ヲ取ツテ、諸君ガ言ハレルガ、何人が満足ヲシテ居ルカ、其満足ヲシタト云フコトハ、所謂辭令ニ過ギナイ、其裏ニハドウ云フコトガアリマスカ、少シク諸君ガ此問題ニ付イテハ、今少シ何故ニ慎重ノ態度ヲ取ラレナカッタデアリマセウカ、到底是テハ諸君ノ我同僚ノタメニ盡スコトハ餘程未ダ及バヌコトデナカッタカ知ラヌト思ヒマス、八名ノ我同僚ト云フモノヲ諸君ノ遣リ口ノ惡ルイタメニ益々天下ノ疑ヲ貽ス、今一步進メテ我同僚ノ冤ヲ雪ギ、我議院ノ體面ヲ雪ガレンコトヲ私ハ希望シマスガ故ニ、委員長ノ報告ヲ斷然否決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 立川雲平君

(「討論終結」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 討論終結ニハ定規ノ賛成者ガアリマスカ

(「澤山アル、澤山アル」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 定規ノ賛成ガアルト認メマス、討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 大多數、討論ハ終結致シマシタ。採決ノ方法ニ付イテ諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、山口熊野君外四名ヨリ記名投票、長谷場純孝君外數名ヨリ無記名投票ヲ以テ採決セラレタイト云フ申出ガアリマス

(「議場騒然」)

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス——先例ニ據リマスレバ、何レノ採決法ヲ採用スルカラ院議ニ諮ラタコトモアリマス、又問ウタコトモゴザイマス、又議長ニ於テ(「公平ニヤルベシ」ト呼フ者アリ)必要ト認メタコトノ方法ヲ採ラタコトモゴザイマス

(「記名投票ニスベシ」ト呼フ者アリ、議場騒然)

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス、就キマシテハ此際此採決ノ方法ヲ議長ニ御一任下スデハ如何デアリマセウカ

(「異議ナシ」反對「先例ニ據ルベシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 採決ノ方法ヲ議長ニ一任スルト云フトコロノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數
○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、議長ニ一任スルトニ決シマシタ
(「少數デス」「異議アリ」「異議ナシ」ノ聲交、起リ「男ラシクヤルベシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 議長ニ一任ヲシナイト云フトコロノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス

(「異議アリ」「少數ダ」「多數ダ」ト呼フ者アリ、發言スル者多シ)

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス

(「議長ハ宣告ヲ爲スベシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス、議長ニ於テハ議長ニ一任ト云フノガ多數ト認メマス

(「異議アリ」「異議ナシ」ノ聲交、起ル)

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス

(「議長ハ公平ニヤリ給ヘ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 異議アリト云フ御方モアリマスガ、段々異議ナシト云フ聲ガ聽エマスルデ、異議ノナイモノト認メマス

(「ソレデ宜シ」「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 議長ニ一任ヲセラレマシタニ付キマシテハ、事苟モ本院議員ノ身上ニ關係ヲスルコトデゴザイマスカラ、議長ハ本案ノ採決ハ無名投票ヲ以テ採決ヲスルコトニ致シマス、拍手起ル——閉鎖

(「此時發言ヲ求ムル者多シ」)

○神崎東藏君 採決ニ付イテ申シマス、此高梨哲四郎君外七名ノ人ミハ其人ミノ御一身ニ關スル事柄ヲ建議スルノデゴザイマスカラシテ、當然此表決ニ加ハラザルコトヲ……(「ヒヤ」「ノウ」「フ聲交、起ル」)

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス、採決ノ順序ヲ述ベマス

(「唯今ノ問題ヲドウナサル」「苟モ法律ヲ解スル者ハソソナコトハ言ハナイ、町村制ニハ斯ウ云フ規則ガアル」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 神崎君、チヨット御尋シマスガ、アナタハ此八名ノ諸君ニ退去サセル、投票ノ際退場サセルト云フデアリマスカ

○神崎東藏君 サセルトハ申シマセヌ、一般ノ表決ニ加ハラヌト云フデアゴザイマスカラシテ(「ソソナコトハ規則ニナイ」「無用々々」ト呼フ者アリ)府縣制ヤ町村制ノ下級ノモノニハ詳シク書イテアルガ、衆議院ニハ教ヘルニ及バヌカラ書イテナイ

(「笑聲起ル」)

○神藤才一君 抑、此日本ノ議會ト云フモノハ……

(「笑聲起ル」)

○議長(杉田定一君) 神藤君、イケマセヌ

(「神藤才一君議長ノ注意ニ依リ降壇ス」)

○議長(杉田定一君) 神藤君、イケマセヌ

(「神藤才一君議長ノ注意ニ依リ降壇ス」)

○議長(杉田定一君) 神藤君、イケマセヌ

(「神藤才一君議長ノ注意ニ依リ降壇ス」)

○議長(杉田定一君) 神藤君、イケマセヌ

(「神藤才一君議長ノ注意ニ依リ降壇ス」)

○議長(杉田定一君) 神藤君、イケマセヌ

(「神藤才一君議長ノ注意ニ依リ降壇ス」)

○議長(杉田定一君) 神藤君、イケマセヌ

(「神藤才一君議長ノ注意ニ依リ降壇ス」)

○議長(杉田定一君) 神藤君、イケマセヌ

(「神藤才一君議長ノ注意ニ依リ降壇ス」)

○神藤才一君 改メテ私ハ伺ヒマス、議長ハ唯今議席ニ著ケバ……(議場騒然)
○議長(杉田定一君) 静ニ——神藤君何デアリマスカ

○神藤才一君 抑、此議會ヲ以テ……(笑聲起ル)泥棒、畜生、馬鹿呼ハハリト云フコトニ付イテハ、實ニ列國ニ對シテモ耻カシイ……(笑聲起ル)恐レヤセヌケレドモ、馬鹿、畜生、泥棒ト云フノハ暴言ノ最極ナル、此ノ如キ暴言ヲ吐イタ者ハ、議長ニ於テハ如何ニ處理ナサルカ、若シモ馬鹿、畜生、泥棒ト呼ンダモノガアレバ、決闘スルヨリ外ハナイ、故ニ神藤議員ハ宜シク決闘條例ヲ廢スベカラズト云フコトヲ申シテ置キマス

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス
(議場騒然)

○議長(杉田定一君) 神崎君、アナタノ此八名ノ諸君ニ此投票ニ與カラシメナイト云フコトニ贊成ノ諸君ガアリマスカ
(贊成々々)「贊成ガアツテモサウ云フ規則ハナイ」ト呼フ者アリ

○福井三郎君 一言私ハ述ベルコトガアル
(徳義上拔ケロ)ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 静ニ願ヒマス
○福井三郎君 唯今高梨君以下八名ノ人ヲ數ニ加ヘルカ加ヘヌカト云フ問題デアリマスガ、苟モ衆議院ニ於テ一ノ椅子ヲ占メテ居ルモノハ何レモ國士デアル、此國士ガ今其身ノ上ニ係ルコトヲ決セラレル場合ニ當テ、自カラ此議席ニ居ラレヤウトハ本員ハ斷ジテ信ジマス、又席ニハ居ルニハ及バナイ、本員ハ單獨ノ意味ヲ以テ此席ヲ退カル、コトヲ確信シテ疑ハヌ、此一事ヲ以テ採決ヲ進行セラレントヲ望ミマス

○高梨哲四郎君 議長——議長
○議長(杉田定一君) 今ノ神崎君ノ動議ガ問題ニナリマシタカ(「ナツタ」)ト呼フ者アリナリマシタナラバ、私ハ之ニ反對ノ意見ヲ述ベマス

○議長(杉田定一君) 問題ニナツテ居リマス
○高梨哲四郎君 本員等ハ此議席ニ列スルノハ、憲法上得タルトコロノ權利デアリマス、進歩黨ノ神崎東藏輩ノ發言ニ依テカラニ、我憲法ヲ動カスコトハ出來ナイノデアリマス、本員ニ於テハ滿場ノ諸君ガ退席ヲ強ヒテモ、僕ハ憲法上ノ權利ニ於テ、一步モ此席ヲ去ルコトハ致シマス

(長谷場純孝君登壇)
○長谷場純孝君 唯私ハ此問題ガ起リマシタ以上ハ一言セザルヲ得ナイ(神藤才一君「サウ」トソコマデヤラヌケレバ往ケヌ)ト呼フ極ク静ニ一ツ御聽キ下サイ、我議院法ノ第八十條ニ(ソナナコトハ知ツテ居ル)ト呼フ者アリ)議員其資格ナキコトヲ證明セラルルニ至ルマデハ、議院ニ於テ位列及發言ノ權ヲ失ハス「斯ウアルノデゴザイマス(無用々々)ト呼フ者アリ)其他ニ於テ——議員ガ自分ノ資格ニ關スルコトノ外ニ於テ、位列及發言ノ權ヲ失フコトハ斷ジテナイノデゴザイマス、ソレデ即チ法律問題ヲ以テ、是ハヤルガ宜シイノデゴザイマス(「法律以上ノ問題デアル」ト呼フ者アリ)本人ガ自カラ退クト云フモノガアルナラバ、別問題ナレドモ、議員ノ動議ニ依リ議院ノ多數ヲ決シテ退カシムベキモノデハナイノデアル、若シ又此ノ如キコトヲ一度慣例ヲ起シマシタナラバ、如何

デゴザイマセウカ、或ハ或ル場合ニ於テ他ノ黨派ノ多數ヲ傷ケンガタメニ、一ツノ小新聞ニ多數ノ人名ヲ列記シテ、而シテ之ヲ又調査委員會ニ掛ケル、而シテ其議員ノ席ニ列ナルコトヲ得セシメナイヤウニシテ、彼此ノ政略手段ヲ行フカ如キ萬一慣例ヲ拵ヘタナラバ、甚ダ忌ムベキコトデアラウト私ハ考ヘルノデゴザイマス、(拍手起ル)ソレデ此問題ハ本人ツレ自身ガ席ヲ去ル者ハ卒サ知ラズ、ケレドモ苟モ此議院ノ多數ヲ以テ——決議ヲ以テ此席ヲ退カスルヤウナコトハ、惡慣例ヲ貽シ、且又左様ナコトハ爲スベカラザルモト信ジマスカラ、残念ナガラ私ハ神崎君ノ說ニ反對ヲ致シマス、ドウツ神崎君モ此御提議ダケハ御取消ヲ願ヒタイモノデゴザイマス

○福井三郎君 本員ハ別ナコトヲ言フノデス、神崎君ヨリ高梨君以下八名ノ指名セラレタ諸君ノ退場ヲ求ムベキ動議ガ出タ、是ニハ退場セシムルノモ、議院ニハサウ云フ規則法律ガナイ、故ニ本人ガ勝手ニ退カレルナレバ格別、強ユルコトハ出來ヌト云フ御辯駁ガアル、是ハ如何ニモ御尤モデ、本員モサウ云フ規則ハナササウニ思フ、縱シアツタスルモ本員ハ國士ヲ遇スル左様ナコトヲ以テ、此席ニ於テシヤウトハ信ジナイ、殊ニ高梨君ナドハ、本員ナドカ未ダ子供ノトキカラ、エライ御方ト信ジテ居タ、同時ニ尊敬ヲ拂フテ居ル御方デアル、旁々以テ左様ナコトヲ以テシヤウトハ思ハヌ故ニ、高梨君等ノ實ニ赫々タル名譽ヲ傷ケザラントコトヲ思フ苦心ヲ以テ、自ラ御退キニナラントコトヲ、如何デアラウカトノ御勸告ヲ申シタガ、是モ憲法上ノコトヲ楯ニ取ツテ御聞入ニナラヌト云フナラバ迫ルコトハナイ、此上ハ議長ヲ信ジテ、議長ガ其權能ニ於テ任セラレタトコロノ記名ノ採決ノ方法ヲ指定スルト云フコトナレバ、即チ天下ノ國民ガ茲ニ集ツテ見テ居ルノデアルカラシテ、議長ノ採決ニ信任ヲ指イテ、其採決ヲ受ケル外ハナカラウト思ヒマス、此以上ハ最早此採決ヲ進行セラレントヲ希望シマス

○議長(杉田定一君) 神崎君——「チヨット」静ニ願ヒマス
○原田赴城君 發言ヲ求ムルノデアル
○議長(杉田定一君) 今神崎君ヲ呼ンデ居リマス
○神崎東藏君 アチラヲ先ニ……
○議長(杉田定一君) 神崎君ハ原田君ニ御譲リニナリマスカ
○原田赴城君 唯今其八名ノ諸君ノ退席ノ動議ガ出テ居リマスガ、ソレニハ本員等ハ贊成致シマス、本員ハ八名ノ諸君ニシテ事自身ニ關係スルヲ以テ、是ハ遠慮スルガ然ルベシト自カラ退席セラル、コトハ希望致シ、尙勸告致シマスルガ、其勸告ニ應ゼヌカラト云ツテ退席セシムルト云フコトハ同意ハ致シマス

○漢奇鉄五郎君 チヨット一言シマス、私ノ一身上ニ關係シマスカラ、私ハ退席スル考デ居リマシタガ、併ナガラ進歩黨ノ諸君ガ吾ニ附與セラレタトコロノ法律ノ權能ヲ奪ハントスルガ故ニ、斷ジテ退席致シマス
○神崎東藏君 詰リ徳義上御退席ニナツテ然ルベシト云フ意味ニ於テ言ツタノデゴザイマスガ、私ノ言葉ニ角ノアルタメニトウノ、斯ウ云フ場合ニナツテシマッタノデアリマスガ、漢奇君ノ如キハ、ア、云フ立派ナ御考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカラ、免ニ角議長カラ改メテ八名ノ人ヲ退席ヲ勸告セラレントヲ望ミマス
(「ノウ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 徳義上自カラ退クノハ免モ角モ、議長カラ退場然ルベシト云フコト申サレマセヌ、ツレテ神崎君ノ説ニ付イテハ採決シマセヌ……採決ノ順序ヲ宣告致シマス、先ツ少數意見ガ委員長ノ報告ニ對シテ修正デアリマス、先ツ此修正ニ就イテ採決ヲ致シマス、即チ少數意見ニ同意ノ諸君ハ白球ヲ御持參ニナルヤウニ願ヒマス、少數意見ニ反對ノ方ハ黒球ヲ御持參ヲ願ヒマス、又名刺ヲ持ツトニ御忘レノナイヤウニ願ヒマス

〔「分ラヌ」球ハ此處ニアリマセヌト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 白球、黒球ハ此處ニアリマス

○長谷場純孝君 少シク議長ノ御宣告ガ分リ悪クウゴザイマシタガ、此少數意見ニ贊成ノ者ハ白球、ツレカラ少數意見ニ反對ノ者ハ黒球、其通りテセウ

○議長(杉田定一君) サウデス——名刺ハ必ず御持參ニナルヤウニ願ヒマス——氏名點呼

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(杉田定一君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハアリマセヌカ——開鎖——開匣

〔書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス〕

○議長(杉田定一君) 書記官長ヨリ投票ノ結果ヲ報告サセマス

〔林田書記官長朗讀〕

球數總數 三百四十一

白球 百六十五

黒球 百七十六

〔拍手起ル〕

○議長(杉田定一君) 少數意見ハ否決ニナリマシタ

○高梨哲四郎君 本員ハ先刻過激ノ餘リ、神崎東藏君ニ對シテ不謹慎ノ言葉ヲ發シマシテ、甚ダ惡ルウゴザイマシタ、取消ヲ致シマス

○議長(杉田定一君) 委員長報告ノ通り、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通可決致シマス——市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法中改正案ノ委員會ヲ是ヨリ開會致シタイト云フコトデアリマスガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○長谷場純孝君 本員ハ此場合ニ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ議事日程ヲ變更シ、移民保護法中改正法律案ヲ委員長カラ報告ニナラセ、此場合ニ本會議ニ付セラレシコトノ緊急動議ヲ提出致シマス

○議長(杉田定一君) 長谷場君發議ノ通り、此際日程ヲ變更シ移民保護法中改正法律案ヲ會議ニ付シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——移民保護法案ハ問題トナリマシ

横井時雄君

移民保護法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔横井時雄君登壇〕

○横井時雄君 移民保護法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、諸君ノ御選定ニ依リテ十八名ノ委員ガ出來マシテ、而シテ委員會ヲ開クコト四回ニ及ビマシタ、其三回ハ頗ル周密ナル質問ヲ政府委員ニ試ミ、或ハ又秘密會モ致シマシテ、而シテ外交上ノコトニ付イテ説明ヲモ聞キマシタ、此委員會ノ決定スルコトハ、移民保護法中改正案ノ中ニ於テ第五條ニ左ノ一項ヲ加フト云フコトコガアリマス、其舊ノ法案ニ依レバ「移民取扱人ハ行政廳ノ許可ヲ得テ移民ト直接ノ關係ヲ有スル業務ヲ營ムコトヲ得」ト云フコトニナラセリマス、此文面ノ中デ關係ヲ有スル運送業農業及鑛業ヲ營ムコトヲ得トアリマス、此中ノ「運送業農業漁業又ハ鑛業ヲ除キマシテ、而シテ其代リニ「業務」ト云フ二字ヲ加ヘルコトニナリマシタ、即チ原案ニアルヨリモ大イニ其範圍ヲ廣クシタデアリマス、是ガ一ノ修正デアリマス、其次ニハ第二十六條ノ三ト云フ條目ノ中デ、第二項ニ「前項ノ罰金ハ保證金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得」ト云フ一項ガアリマスガ、是ハ茲ニ掲ゲル必要ガナイ、掲ゲレバ却テ法文トシテ體裁ヲナサナイト云フ議論デアリマシテ、之ヲ削ルコトニナリマシタ、其外ハ政府提出ノ原案通り可決シタデアリマス、此本案ノ理由ニ付キマシテハ「時勢ノ進歩ニ伴ヒ移民取扱人業務ノ範圍ヲ擴張スルト同時ニ益移民ノ保護ヲ厚クスルノ必要アリ」是レ本案ヲ提出スル所以ナリ、此簡單ナル文字テ、其趣意ハ盡キテ居リマス、或ハ果シテ此法案ガ政府ノ期シテ居ル程ノ多大ノ效力ガアルカナイカ、ナシトスルモ或ハ其幾分ヲ達スルコトヲ得ベシト云フノ意見ガ、即チ委員會多數ノ意見デアッタデアリマス、之ヲ大ニ效果アラシムルト否トハ偏ニ政府當局者ノ此法案ヲ活用スル如何ニアル、又我國民ガ今日ノ氣運ニ乗ジテ之ヲ活用シテ、殖民の大計畫ヲ立テ、之ヲ實行スルヤ否ヤト云フ問題ニ歸スルデアリマス、委員會ノ多數ハ先ニ申シタル二項ノ修正ノ外本案ヲ可決シタデアリマスカラ、ドウカ本會議ニ於キマシテモ、大多數ヲ以テ委員會ノ修正通り御可決アランコトヲ切ニ希望スルデアリマス

○議長(杉田定一君) 別段御議論ガナイヤウデアリマスカラ採決シマス、本案ノ二讀會ヲ開クト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ略シテ確定セラシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キ全部ヲ議題ト致シマス、委員長報告通御異議アリマセヌカ

移民保護法中改正法律案

確定議

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ
日程第九、第十八請願デアリマスカラ、併セテ委員長カラ報告ヲ願ヒマス、小河源一君

第九 (特別報告第十九號)高等工業學校設立ノ (委員長報告)
請願

第十 (特別報告第二十八號)漆樹栽培保護ノ請 (委員長報告)
願外一件

〔小河源一君登壇〕

○小河源一君 極ク簡單ニ御報告ヲ致シマス、高等工業學校設立ノ請願ノ一件ハ、北海道ニ同校ヲ設ケタイト云フコトデ、而シテ北海道ハ函館デ樞要ノ地デ、教育材料モ整ウテ居ルカラ設ケタイト云フ意味デ、政府委員ノ意見モ聽イテ、委員會デハ一致シテ可決ニナラタ次第デアリマスカラ、御賛成アラント望ミマス、次ノ一件ハ漆樹栽培保護ノ請願デ、是ハ我日本ノ特産タル漆器ノ原料タル漆液ガ次第ニ減少シテ、競争國ノ清國ヨリ二分ノ二以上ノ供給ヲ仰イテ居ルガ、尙清國ノ漆液モ高價トナテ、我漆器業ニ大ナル影響ヲ及ボスカラ、保護獎勵ノ途ヲ執ッテ貫ヒタイト云フ趣意デ、其方法ハ配付シタ速記録ニアリマスカラ一々ハ述ベマセヌ、政府モ大體ノ趣意ハ賛成デアリマシテ、獎勵ノ途ヲ執ッテ居ルケレドモ、直チニ請願ノ趣意ニハ同意ハ出來ヌト云フコトデアリマシタガ、政府ノ獎勵ノ途ハ不完全故ニ、全會一致ヲ以テ可決シタデアリマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○恆松隆慶君 日程第九、第十八一括シテ議題ニ供サレ、委員長報告通り採擇セラレントト望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ動議ノ如ク、日程第九、第十ヲ一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス——委員長報告通り兩案共採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、採擇ニ決シマス、報告ヲ致シマス

〔書記朗讀〕
一委員ヲ指名スルノ如シ

公共團體課税ノ制限ニ關スル法律案

宮部 襄君 石井 信君 森 肇君
神前 修三君 井上 要君 大津 淳一郎君

荒川 五郎君 城 重 雄君 松本 恆之助君
統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外二件

丹後 直平君 伊藤 傳右衛門君 小田 貫一君
後藤 文一郎君 降旗 元太郎君 佐々木 正藏君

安達 謙藏君 富島 暢夫君 武藤 金吉君
租稅其他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案

海野 謙次郎君 上埜 彌一郎君 森 懋君
岩元 信兵衛君 野木 善三郎君 安田 勳君

國有林野拂下ニ關スル建議案
宮古 啓三郎君 中西 六三郎君 池松 豐記君

牧野 元君 横井 甚四郎君 藤 金 作君
中林 友信君 安藤 新太郎君 西山 彰君

河井 重藏君 荒谷 桂吉君 進藤 喜平太君
佐藤 伊助君 石谷 傳四郎君 星野 長太郎君

鈴木 惣兵衛君 近江谷 榮次君 岩本 晴之君
米國ゼームスマウン博覽會出品國庫補助ニ關スル建議案

村松 愛藏君 根本 正君 森本 駿君
奥野 市次郎君 竹村 良貞君 菅澤 重雄君

天野 董平君 松元 剛吉君 島田 三郎君
一貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ

日本勸業銀行法中改正法律案
農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案
藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案

一貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出種牝牛検査法案輸入原料砂糖戻稅法中
改正法律案樞太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案明治三十九年度一般會計所屬

ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律
案本院提出印紙稅法中改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
殖民廳設立ニ關スル建議案

提出者 松本 君 平君 吉植 庄一郎君 木下 謙二郎君
日向 輝武君 神崎 東藏君 西村 丹治郎君

菊池 武衛君 青地 雄太郎君 近江谷 榮治君
竹内 正志君 安達 謙藏君 望月 小太郎君

荒川 五郎君 小川 平吉君
函館小樽室蘭三港修築速成ニ關スル建議案

提出者 大津 淳一郎君 守屋 此助君 齋藤 宇一郎君
内山 吉太君 中西 六三郎君 吉植 庄一郎君

一兩院協議委員ヲ指名スルノ如シ
刑法改正案兩院協議委員

元田 肇君 磯部 四郎君 大岡 育造君
立川 雲平君 關 直彦君 望月 長夫君

大戸 復三郎君 谷澤 龍藏君 奥田 義人君
花井 卓藏君

○議長(杉田定一君) 次回ノ議事日程ヲ報告致シマス

(書記朗讀)

議事日程 第十八號 明治四十年三月二十一日(木曜日)
午後一時開議

- 第一 藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府提出貴) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出貴) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 農工銀行法中改正法律案(政府提出貴) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第七 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出貴) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第九 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(請願委員長提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(樂山和一外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 會計法中改正法律案(森本駿外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 渡良瀬川改修工事ニ關スル建議案(木村半兵衛外) (委員長報告)
- 第十三 大船渡鐵道鐵業ノ利益補給ニ關スル建議案(磯部四郎外) (委員長報告)
- 第十四 司法官ノ待遇ニ關スル建議案(宮古啓三郎外) (委員長報告)
- 第十五 北海道函館外四港修築ニ關スル建議案(港羽端外) (委員長報告)
- 第十六 函館小樽室蘭三港修築速成ニ關スル建議案(大津淳一郎外) (委員長報告)
- 第十七 臺灣彩票局廢止建議案(高梨哲四郎提出)
- 第十八 殖民廳設立ニ關スル建議案(松本君平外) (委員長報告)
- 第十九 衆議院規則中改正案(田中定吉外) (委員長報告)

○議長(杉田定一君) 本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時四十五分散會